OKI

MLET808
イーサネットボード

ユーザーズマニュアル

はじめに

このたびは、イーサネットボードをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本書は、イーサネットボードの設定およびコンピュータとの接続方法について説明しています。プリンタのユーザーズマニュアルと併せてご覧ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

FCC STATEMENT

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interferece by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.

- Increase the separation between the equipment and the receiver.

- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

- Consult the dealer or an experienced radio/television technician for help.

FCC ID:N6CZXE00537A

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

マニュアルの版権に関して

ご注意

1．本書の内容の一部または、全部を無断で転載することは固くお断りします。
2．本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3．本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど､お気付きの点がありましたら､お買い求めの販売店へご連絡ください。
4．本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

MICROLINE は株式会社沖データの商標です。
UNIX は X/Open カンパニーリミテッドがライセンスしている米国及び、その他の国における登録商標です。
Ethernet は、米国ゼロックス社の登録商標です。
MS-DOS、Windows、WindowsNT は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国及び、その他の国における登録商標または商標、商品名です。
Sun OS、Sun Solaris は、米国サン・マイクロシステムズ社の商標です。
NetWare は、米国 Novell,Inc. の登録商標です。
IBM、AIX は米国 IBM 社の商標です。
HP-UX は米国ヒューレットパッカード社の商標です。
Apple の名称およびロゴマーク、AppleTalk、EtherTalk、漢字 Talk、MacOS の名称およびロゴマーク、Macintosh は米国 Apple Computer 社の米国及び、その他の国における登録商標または商標、商品名です。
PostScript は AdobeSystems Incorporated の各国での登録商標または商標です。
その他の製品名もしくはブランド名は、それらの所有者の登録商標または商標です。

本書での説明のマーク

イーサネットボードを正しく動作させるための注意や制限です。誤った操作をしないため、必ずお読みください。

イーサネットボードを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。お読みになることをお勧めします。

使用許諾契約

イーサネットボードに付属のソフトウェアおよびドキュメンテーションは、株式会社沖データが提供するものです。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は、株式会社沖データ（以下、沖データという）との間で契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

１．お客様は、本ソフトウェアに対応するイーサネットボードを所有している場合のみ、ソフトウェアを使用することが出来ます。

２．本ソフトウェアおよびドキュメンテーション、そしてそれらのコピーの著作権、版権、所有権は、沖データまたは沖データに使用許諾を与えたライセンサーにあります。本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションの一部または全部を複製したり、他人に複製を作らせたり、複製を許可したり、商行為をすることはできません。お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。また、本契約で認められた項目を除き、本ソフトウェアとドキュメンテーションに関するいかなる知的所有権の権利も付与しません。

３．お客様は以下の条件すべてを満足することにより本ソフトウェアを第三者に譲渡できます。
（１）本ソフトウェアに対応する沖データイーサネットボードと一緒に譲渡する。
（２）本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのコピー全てを当該第三者に譲渡し、または譲渡しなかったコピーを全て破棄する。
（３）当該第三者が事前に本契約の拘束に同意する。
また、本ソフトウェアを賃貸、貸与、リース、配布、転載、移転することはできません。
お客様は、本ソフトウェアを日本国外に出荷、移転、輸出、再輸出できないこと、違法な方法で使用しないことに同意します。

４．お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様の本ソフトウェアおよびドキュメンテーションの使用中止およびライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのオリジナルおよび全てのコピーを破棄し、商標の使用を中止するものとします。

５．沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションに関して、以下のことを含む一切の保証をしません。
（１）本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
（２）本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションに瑕疵がないこと。
（３）第三者の権利を侵害していないこと。
（４）特定の目的に適合していること。
またソフトウェアまたはドキュメンテーションは、予告なく改良、変更することがあります。

６．沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、一切責任を負わないものとします。

目　次

7.NetWare から利用するには

8. イーサネットボードの管理

9. トラブルシューティング

付録

第 1 章

イーサネットボードを取り付けます

1 イーサネットボードを取り付けます

MLETB08の特長

マルチプロトコルに対応

EtherTalk、TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUIの4つのネットワークプロトコルに対応しています。

専用ネットワークユーティリティを付属

Windows98/95/2000/NT4.0およびMacintoshからイーサネットボードの設定を行うことができます。

Webブラウザで管理できます

TCP/IPでネットワークに接続している場合、Microsoft Internet ExplorerやNetscape NavigatorなどのWebブラウザを利用して、イーサネットボードの設定やプリンタのメニュー設定ができます。

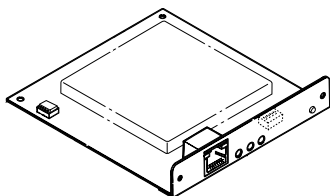
SNMPに対応

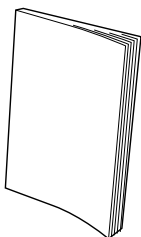
SNMPエージェントを実装しています。

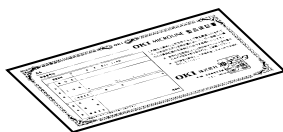
注 MLETB08は汎用のイーサネットボードです。取り付けるプリンタによって一部の機能が使用できないことがありますのでご了承願います。

製品の確認

以下の製品があることを確認してください。

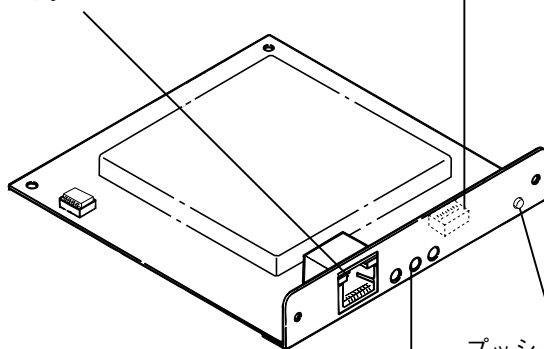
イーサネットボード本体

取り付けネジ（2 個）

イーサネットボード
ユーザーズマニュアル（本書）

ネットワークソフトウェアCD-ROM

保証書

イーサネットボード各部の名前

100BASE-TX /
10BASE-T 用コネクタ
ツイストペアケーブルで接続します。

注 100BASE-TX と 10BASE-T は自動切り替えです。

ディップスイッチ
通常使用時は、全てOFFにしてください。

プッシュスイッチ
イーサネットボードの初期化と自己診断テストと設定内容の印刷ができます。

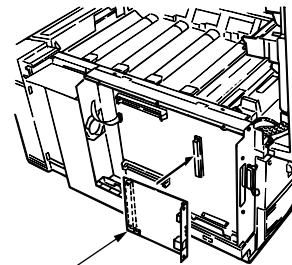
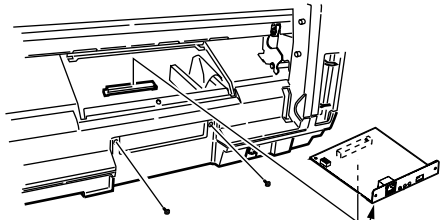
STAT ランプ（橙）
データ受信時に点滅します。イーサネットボードの異常を検出した場合は次のいずれかの動作をします。

・一定間隔で点滅
・常に点灯
・常に消灯

LINK 10M ランプ（緑）
10BASE-TX で接続すると点灯します。

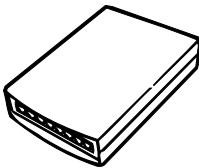
LINK 100M ランプ（緑）
100BASE-T で接続すると点灯します。

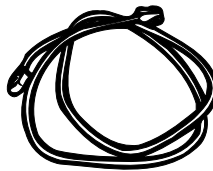
プリンタへ取り付けます

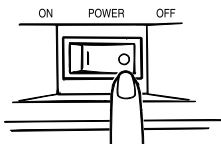
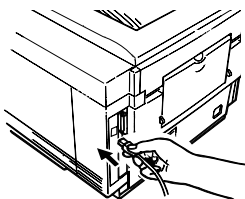
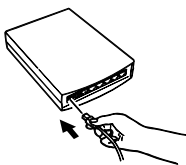
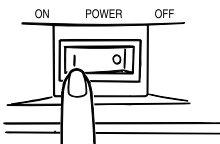
イーサネットボードの取り付け方法はプリンタによって異なります。詳しくは各プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

ネットワークへ接続します

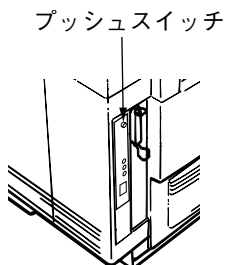
接続に必要なもの

イーサネットボードをネットワークに接続するには次の製品が必要です。これらの製品は、必要に応じてネットワーク製品取扱店でお買い求めください。

ハブ（HUB）

ツイストペアケーブル（カテゴリー5 ストレート）

※シールド付きのケーブルが必要です。

接続手順

1 プリンタの電源スイッチをOFF にします。

2 ツイストペアケーブルを、イーサネットボードのコネクタに差込みます。

3 ツイストペアケーブルのもう一方を、ハブ（HUB）に差込みます。

4 プリンタの電源スイッチをON にします。

注 ・ルータやサーバを利用したネットワークでご使用になる場合、ルータやサーバが起動した後でプリンタの電源をONにしてください。ルータやサーバより先にプリンタの電源をONにすると、正常にネットワークで使えない場合があります。

イーサネットボードを初期化します

1 プリンタの電源を OFF にします。

2 プッシュスイッチを押したままプリンタの電源を ON にします。
プリンタがウォーミングアップを始めたら、指を離します。

イーサネットボードが初期化されます。

自己診断テストと設定内容を印刷します

1 プリンタの電源をONにします。

2 プッシュスイッチを３秒間以上押し続けてから指を離します。
自己診断テストと設定内容が印刷されます。

＜自己診断テストの印刷例＞

```
EthernetBoard MLETB08 Version 2.0.0

*** Diagnostic report ***
   ROM Check  :  Ok  stat: 8166 FFFF 0000 0000
   RAM Check  :  Ok  stat: 0000 0000 0000 0000
   NIC Check  :  Ok  addr: 00:80:92:01:00:D2  10BASE-T(TPI)
EEPROM Check  :  Ok  stat: 884B 884B 0000 0000

      DIPSW1  :  OFF(ON:Test use only)
      DIPSW2  :  OFF(ON:Initialize configuration)
      DIPSW3  :  OFF(ON:Configuration print)
      DIPSW4  :  OFF(ON:Diagnostic print)
```

＜設定内容の印刷例＞

```
EthernetBoard  MLETB08 Version 2.0.0

*** Configuration report ***
TCP/IP protocol        :ENABLE
IP address             :0.0.0.0
Subnet mask            :0.0.0.0
Gateway address        :0.0.0.0
RARP protocol          :DISABLE
DHCP/BOOTP protocol    :ENABLE
root password          :""
Authentic community    :"******"
Trap community         :"public"
Trap address           :0.0.0.0
SysContact             :""
SysName                :""
SysLocation            :""
DefaultTTL             :255
EnableAuthenTrap       :2
NetWare protocol       :ENABLE
Packet type            :AUTO
NetWare mode           :PSERVER
FSERVER name 1         :""
FSERVER name 2         :""
FSERVER name 3         :""
FSERVER name 4         :""
FSERVER name 5         :""
FSERVER name 6         :""
FSERVER name 7         :""
FSERVER name 8         :""
Machine name           :"ML0100D2"
Password               :""
Job polling interval   :4
Bindery mode           :ENABLE
NDS tree               :""
NDS context            :""
PSERVER name 1         :""
PSERVER name 2         :""
PSERVER name 3         :""
PSERVER name 4         :""
PSERVER name 5         :""
PSERVER name 6         :""
PSERVER name 7         :""
PSERVER name 8         :""
Job timeout            :10
EtherTalk protocol     :ENABLE
Zone name              :"*"
NetBEUI protocol       :ENABLE
Computer name          :"ML0100D2"
Workgroup name         :"PrintServer"
Comment                :"EthernetBoard MLETB08"
NetWare port name      :"ML0100D2-prn1"
EtherTalk port name    :"ML0100D2"
BOJ string             :""
EOJ string             :""
BOJ string(euc/sjis)   :""
EOJ string(euc/sjis)   :"¥x04"
Printer type           :PS
TAB size(char.)        :8
Page width(char.)      :78
Page length(line)      :66
lpr/ftp banner         :NO
Prn-Trap Community     :"public"
TCP#1 Trap enable      :DISABLE
```

```
On-line trap           :DISABLE
Off-line trap          :DISABLE
Paper Out trap         :DISABLE
Paper Jam trap         :DISABLE
Cover Open trap        :DISABLE
Printer Error trap     :DISABLE
TCP#1 Trap address     :0.0.0.0
TCP#2 Trap enable      :DISABLE
On-line trap           :DISABLE
Off-line trap          :DISABLE
Paper Out trap         :DISABLE
Paper Jam trap         :DISABLE
Cover Open trap        :DISABLE
Printer Error trap     :DISABLE
TCP#2 Trap address     :0.0.0.0
TCP#3 Trap enable      :DISABLE
On-line trap           :DISABLE
Off-line trap          :DISABLE
Paper Out trap         :DISABLE
Paper Jam trap         :DISABLE
Cover Open trap        :DISABLE
Printer Error trap     :DISABLE
TCP#3 Trap address     :0.0.0.0
TCP#4 Trap enable      :DISABLE
On-line trap           :DISABLE
Off-line trap          :DISABLE
Paper Out trap         :DISABLE
Paper Jam trap         :DISABLE
Cover Open trap        :DISABLE
Printer Error trap     :DISABLE
TCP#4 Trap address     :0.0.0.0
TCP#5 Trap enable      :DISABLE
On-line trap           :DISABLE
Off-line trap          :DISABLE
Paper Out trap         :DISABLE
Paper Jam trap         :DISABLE
Cover Open trap        :DISABLE
Printer Error trap     :DISABLE
TCP#5 Trap address     :0.0.0.0
IPX Trap enable        :DISABLE
On-line trap           :DISABLE
Off-line trap          :DISABLE
Paper Out trap         :DISABLE
Paper Jam trap         :DISABLE
Cover Open trap        :DISABLE
Printer Error trap     :DISABLE
IPX Trap address       :"000000000000"
IPX Trap net           :"00000000"
```

注　複数のエミュレーションを持つプリンタでは、プリンタのメニュー設定のエミュレーションを［ジドウ］または［PCL］にしてから、自己診断テストと設定内容の印刷を行なってください。

第 2 章

Windows98/95 から利用するには

2 Windows98 /95 から利用するには

Windows98/95 日本語版（以後 Windows98/95）から印刷するために必要な Windows98/95 とイーサネットボードの設定を行います。Windows98/95 からは TCP/IP プロトコルと NetBEUI プロトコルを利用できます。

TCP/IP プロトコルを利用します

Windows98/95にはLPR印刷機能が搭載されておりませんので、「OKI LPR ユーティリティ」を使います。

Windows98 / 95 を設定します

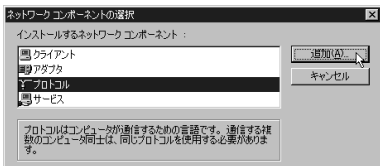
Windows98/95 に［TCP/IP］プロトコルを追加し、IP アドレス、サブネット、ゲートウェイを設定します。

・IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と十分相談の上、割り当てるアドレスを決定してください。
・プリンタ1台とコンピュータ1台をネットワークで接続するような小規模な LAN を組む場合は、18 ページを参照して設定を行ってください。

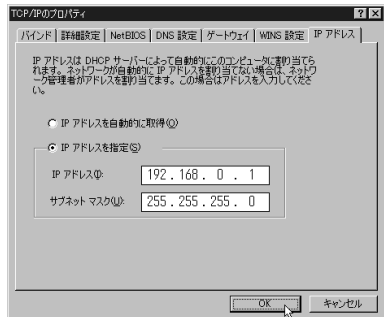
以下の説明は、Windows98 を例にしています。OS のバージョンやシステム構成によって、画面表示や選択肢の内容が一部異なる場合があります。
「Windows98/95 システムソフトウェア CD-ROM」を用意してください。

1 ［ コントロールパネル ］の［ ネットワーク ］を起動します。

2 ［ ネットワークの設定 ］タブを開き、［ TCP/IP → XXX ］が表示されていることを確認します。
表示されていない場合は、［ 追加 ］をクリックします。

3 ［ プロトコル ］を選択して、［ 追加 ］をクリックします。

4 ［ Microsoft ］を選択して［ TCP/IP ］を選択し、［ OK ］をクリックします。

5 ［ TCP/IP → XXX ］を選択して、［ プロパティ ］をクリックします。

6 「 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS 設定 」をそれぞれ設定します。

7 Windows98/95 を再起動します。

イーサネットボードに IP アドレスを設定します

イーサネットボード付属の Standard Setup Utility (Windows)を使用して、イーサネットボードの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

Standard Setup Utility の詳細については「第 8 章　イーサネットボードの管理」をご覧ください。
イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェア CD-ROM」を用意してください。

注 ・IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と十分相談の上、割り当てるアドレスを決定してください。

1 イーサネットボードをネットワークへ接続し、プリンタの電源を ON にします。

2 イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェア CD-ROM」をコンピュータへセットします。

Setup Utility が自動的に起動します。

注 自動的に起動しない場合は、CD-ROM の［ Windows ］フォルダの中の［ Autorun.exe ］をダブルクリックしてください。

3 ［ 日本語 ］をクリックします。

［Setup Utility ］画面が表示されます。

4 ［ OKI Device Standard Setup ］をクリックします。

5 ［インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する］を選択し、［ 次へ ］をクリックします。

6 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

［ AdminManager ］ が起動します。

7 一覧より､イーサネットアドレスを参照して､設定を行うイーサネットボードを選択します。

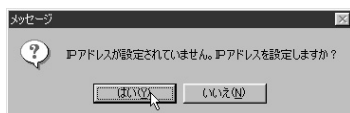
```
EthernetBoard MLETB08 Version 2.0.0

*** Diagnostic report ***
   ROM Check  :  Ok  stat: 8166 FFFF 0000 0000
   RAM Check  :  Ok  stat: 0000 0000 0000 0000
   NIC Check  :  Ok  addr: 00:80:92:01:00:D2  10BASE-T(TPI)
EEPROM Check  :  Ok  stat: 884B 884B 0000 0000

      DIPSW1  :  OFF(ON:Test use only)
      DIPSW2  :  OFF(ON:Initialize configuration)
      DIPSW3  :  OFF(ON:Configuration print)
      DIPSW4  :  OFF(ON:Diagnostic print)
```

MEMO
・イーサネットアドレス（MAC Address）は、イーサネットボードの自己診断テストに表示されています。

注
・初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTP サーバがある場合、サーバから取得したIP アドレスが表示されます。

8 ［ 設定 ］ メニューの ［ OKI Device の設定 ］ を選択します。

＜ TCP/IP プロトコルのみで動作している場合＞

①次のようなメッセージが表示されますので［ はい ］をクリックします。

②イーサネットアドレスとこれから設定する「IP アドレス」を入力し、［ OK ］ をクリックします。

③設定値を有効にするために ［ はい ］ をクリックします。

暫くすると、一覧にイーサネットボードが表示されます。表示されたイーサネットボードを選択し、［ OKI Device の設定 ］ を選択します。

表示されてこない場合は ［ OKI Device の検索 ］ ボタンをクリックしてください。

9 TCP/IPタブの項目を設定し、[設定] をクリックします。

注
- 初期設定では「DHCP/BOOTPを使用する」にチェックが入っています。IPアドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。
- RARPサーバ、DHCPサーバ、BOOTPサーバからIPアドレスを取得する場合は、ネットワーク環境に合わせてチェックを入れます。

10 設定に間違いがなければ、[はい] をクリックします。設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

11 設定値を有効にするため、[はい] をクリックします。

12 [ファイル] メニューの [アプリケーションの終了] を選択し、AdminManagerを閉じます。引き続き、Setup Utility の [Exit] をクリックし、Setup Utilityを終了します。

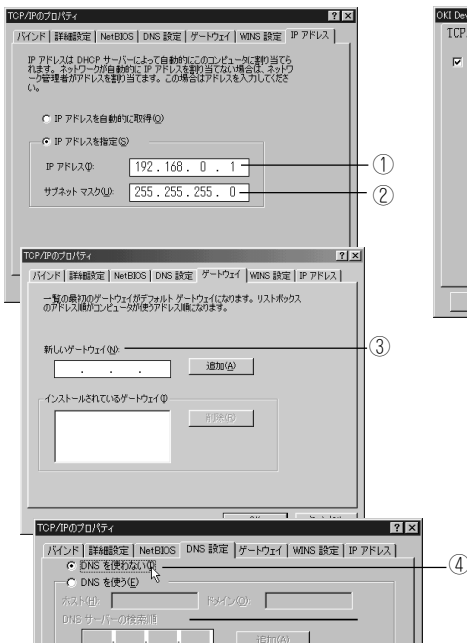
コンピュータ１台とプリンタ１台をネットワークで接続するような小規模なLANを組む場合、次のように設定してください（「RFC1918」による）。設定方法の詳細は、コンピュータの設定は12ページ、プリンタの設定は14ページを参照してください。
必ず、他のネットワークとつながっていないことを確認してください。他のネットワークとつながった状態で、次の設定を行うとネットワーク上に重大な障害が発生します。

①IPアドレス　：　上３つの数値　192.168.0
　　　　　　　　　４つ目の数値　1～254のいずれか
　　　　　　　　　必ず他のコンピュータやプリンタと異なるもの
　　　　　　　　　（例）コンピュータ　：192.168.0.1
　　　　　　　　　　　　プリンタ　　　：192.168.0.2

②サブネットマスク　：　255.255.255.0

③ゲートウェイ　：　0.0.0.0（使用しません）

④DNS　：　DNSを使わない

＜コンピュータ＞

＜プリンタ＞

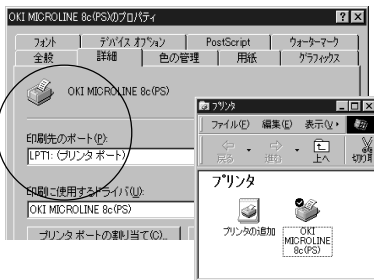
プリンタソフトウェアをセットアップします

引き続き、プリンタソフトウェアをセットアップします。Windows98/95にプリンタドライバの出力先を「ローカルプリンタ（LPT1：)」として追加してからセットアップを行ってください。

・OKI LPR ユーティリティは、十分空き容量のあるハードディスクドライブにセットアップしてください。ハードディスクの空き容量が少ないと、印刷するデータが大きい場合やジョブ数が多い場合などにデータのスプールに失敗し、印刷できないことがあります。

以下の説明は、Windows98にMICROLINE 8c(PS) をセットアップすることを例にしています。
イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」を用意してください。

1 出力先を「ローカルプリンタ(LPT1：)」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

2 イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM 」をコンピュータへセットします。

Setup Utilityが自動的に起動しますので、[Exit] をクリックして終了します。

3 [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択します。

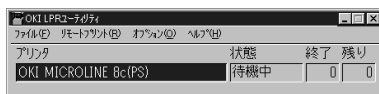
4 [名前] に [D:¥OKILPR¥SETUP]（CD-ROM ドライブ名がD:　の時）を入力し、[OK] をクリックします。

セットアッププログラムが開始されます。画面の指示に従ってセットアップを進めます。

5 セットアップ完了後、[OKI LPR ユーティリティ] をダブルクリックします。

6 [リモートプリント] メニューの [プリンタの追加] を選択します。

7 [プリンタ] の中から、手順1で追加したプリンタを選択し、[IPアドレス]にイーサネットボードの IP アドレスを入力します。
プリンタと IP アドレスに間違いがなければ、[OK] をクリックします。

8 メインウィンドウにプリンタが追加されます。

以上で設定は終了です。
OKI LPR ユーティリティを起動させたまま、アプリケーションソフトから印刷します。

注

- OKI LPRユーティリティは最大10台までプリンタを登録することができます。
- OKI LPRユーティリティを削除するには、[スタート] ー [プログラム] ー [沖データ] ー [OKI LPR ユーティリティ] の [OKI LPR ユーティリティの削除] を選択します。
- OKI LPR ユーティリティを削除する場合、OKI LPR ユーティリティのインストール先ディレクトリやスプールディレクトリに、インストール後に追加したファイルが存在すると、ディレクトリを削除できません。追加したファイルを削除してから行ってください。
- プリンタドライバのプロパティの [詳細] タブの [スプールの設定] は、[このプリンタの双方向通信をサポートしない] から変更しないでください。変更すると印刷時にエラーが発生する場合があります。
- ポストスクリプトプリンタを利用している場合に、プリンタドライバの [プロパティ] の [PostScript] タブの [詳細設定] で [データ形式] を選択できますが、ここでは [ASCII データ] 以外は選択しないください。[ASCII データ] 以外を選択した場合、ポストスクリプトエラーが発生する場合があります。
  また、印刷オプションでデータ形式を指定できるアプリケーション（Adobe Photoshop、Quark XPress など）では、必ず [ASCII（アスキー）] を選択してください。[ASCII] 以外を選択した場合、ポストスクリプトエラーが発生する場合があります。

NetBEUI プロトコルを利用します

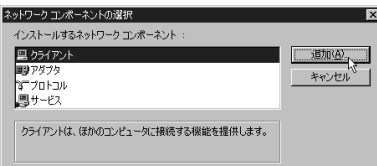
Windows98 / 95 を設定します

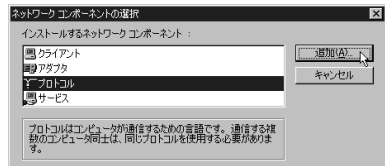
Windows98/95 に［NetBEUI］プロトコルを追加します。

以下の説明は、Windows98 を例にしています。OS のバージョンやシステム構成によって、画面表示や選択肢の内容が一部異なる場合があります。
「Windows98/95 システムソフトウェア CD-ROM」を用意してください。

1 ［ コントロールパネル ］の［ ネットワーク ］を起動します。

2 ［ Microsoftネットワーククライアント ］と［ NetBEUI → XXX ］が表示されていることを確認します。表示されていない場合は、［ 追加 ］をクリックします。

3 ［ Microsoft ネットワーククライアント］が表示されていない場合は、［ クライアント ］を選択して、［ 追加 ］ をクリックします。

4 ［ Microsoft ］ を選択して［ Microsoft ネットワーククライアント］ を選択し、［ OK ］ をクリックします。

5 ［ NetBEUI → XXX ］が表示されていない場合は、［ プロトコル ］を選択して、［ 追加 ］をクリックします。

6 ［ Microsoft ］ を選択して［ NetBEUI ］を選択し、［ OK ］ をクリックします。

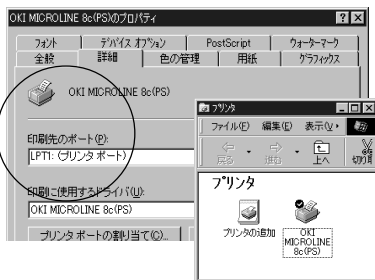
7 Windows98/95 を再起動します。

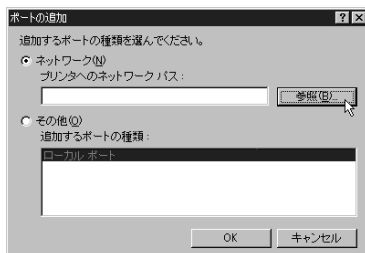
プリンタソフトウェアをセットアップします

引き続き、プリンタソフトウェアをセットアップします。Windows98/95にプリンタドライバの出力先を「ローカルプリンタ（LPT1：)」として追加してからセットアップを行ってください。

以下の説明は、Windows98にMICROLINE 8c(PS) をセットアップすることを例にしています。

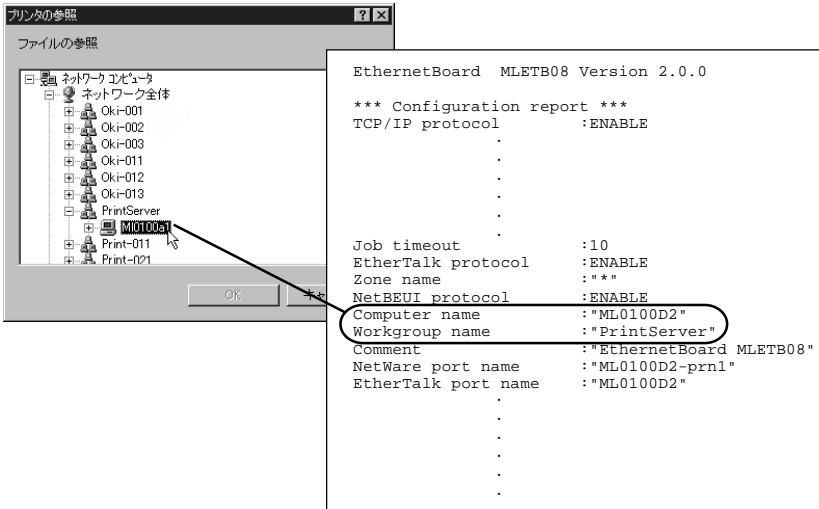
1 出力先を「ローカルプリンタ(LPT1:)」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

2 プリンタドライバのプロパティの［ 詳細 ］タブを開きます。

3 ［ ポートの追加 ］をクリックします。

4 ［ ネットワーク ］を選択し、［ 参照 ］をクリックします。

5 ［ネットワーク全体］-［PrintServer］-［MLxxxxxx］をダブルクリックします。

```
EthernetBoard  MLETB08 Version 2.0.0

*** Configuration report ***
TCP/IP protocol         :ENABLE
              .
              .
              .
              .
              .
              .
Job timeout             :10
EtherTalk protocol      :ENABLE
Zone name               :"*"
NetBEUI protocol        :ENABLE
Computer name           :"ML0100D2"
Workgroup name          :"PrintServer"
Comment                 :"EthernetBoard MLETB08"
NetWare port name       :"ML0100D2-prn1"
EtherTalk port name     :"ML0100D2"
              .
              .
              .
              .
              .
              .
```

MEMO

・［PrintServer］は、イーサネットボードの設定内容の印刷に表示される［Work-group Name］です。
・［MLxxxxxx］は、イーサネットボードの設定内容の印刷に表示される［Computer Name］です。

6 ［Prn1］を選択し、［OK］をクリックします。

7 ［プリンタへのネットワークパス］が指定されたことを確認して、［OK］をクリックします。プロパティを閉じます。

以上で設定は終了です。
アプリケーションソフトから印刷します。

注

- [Computer Name] 名、[Workgroup Name] 名は、Webブラウザ、TELNET等で変更できます。
- Master Browser機能は同一Workgroup内に存在するマシンの情報を管理し、他の Workgroup からの一覧要求に応答する機能です。
- 本イーサネットボードの Master Browser 機能は、Workgroup 名が「PrintServer 」の場合にのみ起動します。
- Master Browser機能は、本イーサネットボード以外の管理はできません。他の Workgroup に「PrintServer 」の名前をつけると、本イーサネットボードがネットワークで見えなくなることがあります。
- Master Browser 機能で管理できるイーサネットボードは最大 8 台です。
- 他のユーザ（他のプロトコルを含む）からのジョブの印刷中は、エラーメッセージが表示され、印刷できません。

第3章

Windows2000から利用するには

3 Windows2000から利用するには

Windows2000 AdvancedServer日本語版、Windows2000 Professional日本語版（以後Windows2000）から印刷するために必要なWindows2000とイーサネットボードの設定を行います。Windows2000からはTCP/IPプロトコルとNetBEUIプロトコルを利用できます。

注 ・Windows2000の「AppleTalk Printing Devices」出力ポートはポストスクリプトプリンタ専用です。ポストスクリプトプリンタ以外では使えません。

TCP/IPプロトコルを利用します

Windows2000を設定します

Windows2000にIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

・IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と十分相談の上、割り当てるアドレスを決定してください。
・プリンタ1台とコンピュータ1台をネットワークで接続するような小規模なLANを組む場合は、18ページを参照して設定を行ってください。
・Windows2000を設定する場合は、Administratorの権限でログインする必要があります。

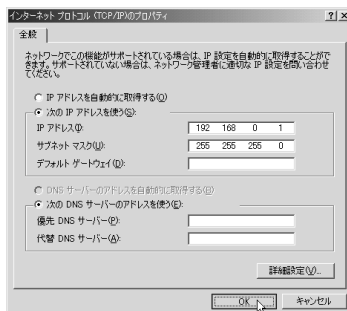
以下の説明は、Windows2000 Professional日本語版を例にしています。OSのバージョンやシステム構成によって、画面表示や選択肢の内容が一部異なる場合があります。
「Windows2000システムソフトウェアCD-ROM」を用意してください。

1 ［スタート］－［設定］－［ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。

2 ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

3 ［インターネットプロトコル(TCP/IP)］を選択し［プロパティ］をクリックします。

4 ［IPアドレス］,［サブネットマスク］,［デフォルトゲートウェイ］,［DNSサーバ］を入力し、［OK］をクリックします。

MEMO デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、入力しません。

5 ［ローカルエリア接続］を閉じます。

イーサネットボードにIPアドレスを設定します

イーサネットボード付属のStandard Setup Utility（Windows）を使用して、イーサネットボードのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

Standard Setup Utilityの詳細については「第8章　イーサネットボードの管理」をご覧ください。
イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」を用意してください。

注 ・IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と十分相談の上、割り当てるアドレスを決定してください。

1 イーサネットボードをネットワークへ接続し、プリンタの電源をONにします。

2 イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をコンピュータへセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

注 自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。

3 ［日本語］をクリックします。

［Setup Utility］画面が表示されます。

4 ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

5 ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

6 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

［ AdminManager ］が起動します。

7 一覧より､イーサネットアドレスを参照して､設定を行うイーサネットボードを選択します。

MEMO
・イーサネットアドレス（MAC Address）は、イーサネットボードの自己診断テストに表示されています。

注
・初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合、サーバから取得したIPアドレスが表示されます。

8 ［ 設定 ］ メニューの ［ OKI Device の設定 ］ を選択します。

＜ TCP/IP プロトコルのみで動作している場合＞

①次のようなメッセージが表示されますので［ はい ］をクリックします。

②イーサネットアドレスとこれから設定する「IPアドレス」を入力し、［ OK ］ をクリックします。

③設定値を有効にするために ［ はい ］ をクリックします。

④暫くすると、一覧にイーサネットボードが表示されます。表示されたイーサネットボードを選択し、［ OKI Device の設定 ］ を選択します。

表示されてこない場合は ［ OKI Device の検索 ］ ボタンをクリックしてください。

9 TCP/IPタブの項目を設定し、[設定] をクリックします。

10 設定に間違いがなければ、[はい] をクリックします。設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

11 設定値を有効にするため、[はい] をクリックします。

12 [ファイル] メニューの [アプリケーションの終了] を選択し、AdminManagerを閉じます。引き続き、Setup Utilityの [Exit] をクリックし、Setup Utilityを終了します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

引き続き、プリンタソフトウェアをセットアップします。Windows2000にプリンタドライバの出力先を「ローカルプリンタ（LPT1：）」として追加してからセットアップを行ってください。

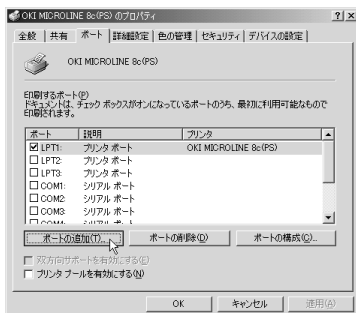
以下の説明は、Windows2000 Professional日本語版にMICROLINE 8c(PS)をセットアップすることを例にしています。
「Windows2000システムソフトウェアCD-ROM」を用意してください。

注 ・Administratorの権限でログインしてからセットアップしてください。

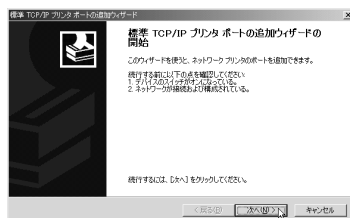
1 出力先を「ローカルプリンタ（LPT1：）」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

2 プリンタドライバのプロパティの［ ポート ］タブを開きます。

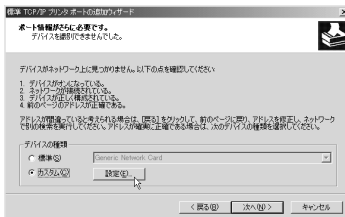
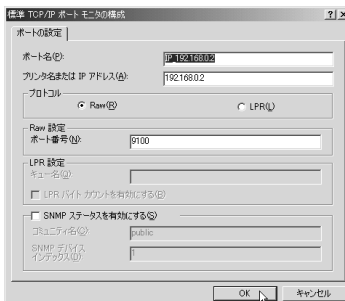
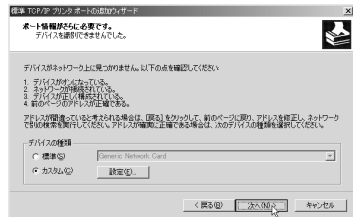
3 ［ ポートの追加 ］をクリックします。

4 ［ Standard TCP/IP Port ］を選択し、［ 新しいポート ］をクリックします。

注 ・［ Standard TCP/IP Port ］以外は選択しないでください。

5 ［ 次へ ］をクリックします。

6 ［プリンタ名または IP アドレス ］（例：192.168.0.2）と［ポート名］を入力し、［次へ］をクリックします。

MEMO ［ポート名］は任意の名前を付けてください。デフォルトはIP_（IP アドレス）です。

ネットワーク上のイーサネットボードを検索します。

7 ［デバイスの種類］で［カスタム］を選択し、［設定］をクリックします。

8 ［プロトコル］が［RAW］、［ポート番号］が［9100］、［SNMP ステータスモニタを有効にする］のチェックが外れていることを確認し、［OK］をクリックします。

9 ［ 次へ ］をクリックします。

10 ［完了］をクリックし、プロパティを閉じます。

以上で設定は完了です。
アプリケーションから印刷します。

NetBEUI プロトコルを利用します

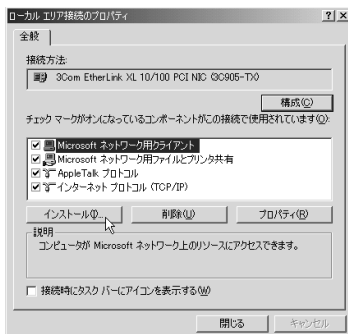
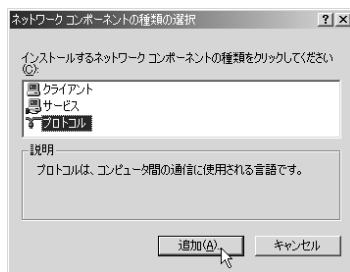
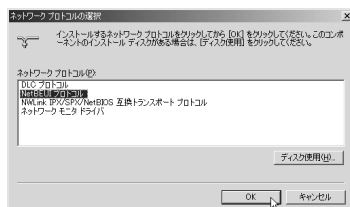
Windows2000 を設定します

Windows2000 に［ NetBEUI プロトコル ］を追加します。

注 ・Windows2000 を設定する場合は、Administrator の権限でログインする必要があります。

以下の説明は、Windows2000 Professional日本語版を例にしています。OSのバージョンやシステム構成によって、画面表示や選択肢の内容が一部異なる場合があります。
「Windows2000 システムソフトウェア CD-ROM」を用意してください。

1 ［スタート］－［設定］－［ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。

2 ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。
［ NetBEUIプロトコル ］が表示されていることを確認します。
表示されていない場合は、［ インストール ］をクリックします。

3 ［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックします。

4 ［NetBEUI プロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。

5 ［ローカルエリア接続］を閉じます。

プリンタソフトウェアをセットアップします

引き続き、プリンタソフトウェアをセットアップします。Windows2000にプリンタドライバの出力先を「ローカルプリンタ（LPT1：）」として追加してからセットアップを行ってください。

以下の説明は、Windows2000 Professional日本語版にMICROLINE 8c(PS)をセットアップすることを例にしています。

注 ・Administratorの権限でログインしてからセットアップしてください。

1 出力先を「ローカルプリンタ（LPT1：）」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

2 プリンタドライバのプロパティの［ ポート ］タブを開きます。

3 ［ ポートの追加 ］をクリックします。

4 ［ Local Port ］を選択し、［ 新しいポート ］をクリックします。

注 ［ Local Port ］以外は選択しないでください。

5 [ポート名の入力] に「¥¥MLxxxxxx¥PRN1」と入力し、[OK] をクリックします。

・[MLxxxxxx] は、イーサネットボードの設定内容の印刷に表示される [Computer Name] です。

以上で設定は終了です。
アプリケーションソフトから印刷します。

注

・[Computer Name] 名、[Workgroup Name] 名は、Web ブラウザ、TELNET 等で変更できます。
・Master Browser 機能は同一 Workgroup 内に存在するマシンの情報を管理し、他の Workgroup からの一覧要求に応答する機能です。
・本イーサネットボードの Master Browser 機能は、Workgroup 名が「PrintServer 」の場合にのみ起動します。
・Master Browser 機能は、本イーサネットボード以外の管理はできません。他の Workgroup に「PrintServer 」の名前をつけると、本イーサネットボードがネットワークで見えなくなることがあります。
・Master Browser 機能で管理できるイーサネットボードは最大 8 台です。
・他のユーザ（他のプロトコルを含む）からのジョブの印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できません。

第 4 章

WindowsNT4.0 から利用するには

4 WindowsNT4.0から利用するには

WindowsNT Server 4.0日本語版、WindowsNT Workstation 4.0日本語版（以後WindowsNT4.0）から印刷するために必要なWindowsNT4.0とイーサネットボードの設定を行います。WindowsNT4.0からはTCP/IPプロトコルとNetBEUIプロトコルを利用できます。

注
・WindowsNT4.0の「AppleTalk Printing Devices」出力ポートはポストスクリプトプリンタ専用です。ポストスクリプトプリンタ以外では使えません。

TCP/IPプロトコルを利用します

WindowsNT4.0を設定します

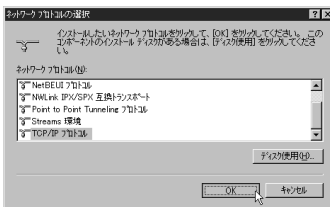
WindowsNT4.0に［TCP/IPプロトコル］と［Microsoft TCP/IP印刷］サービスを追加し、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

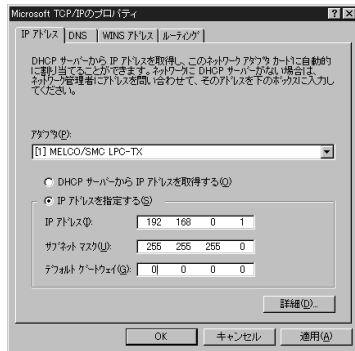
・IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と十分相談の上、割り当てるアドレスを決定してください。
・プリンタ1台とコンピュータ1台をネットワークで接続するような小規模なLANを組む場合は、18ページを参照して設定を行ってください。
・WindowsNT4.0を設定する場合は、Administratorの権限でログインする必要があります。

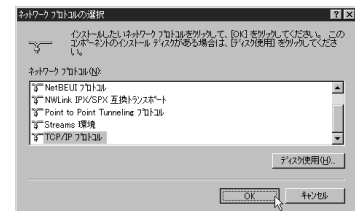
以下の説明は、WindowsNT Server 4.0日本語版を例にしています。OSのバージョンやシステム構成によって、画面表示や選択肢の内容が一部異なる場合があります。「WindowsNT4.0システムソフトウェアCD-ROM」を用意してください。

1 [コントロールパネル] の [ネットワーク] を起動します。

2 [プロトコル]タブを開き、[TCP/IP プロトコル] が表示されていることを確認します。
表示されていない場合は、[追加] をクリックします。

3 [TCP/IP プロトコル] を選択し、[OK] をクリックします。

4 [TCP/IP プロトコル] を選択し [プロパティ] をクリックします。

5 「IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS」をそれぞれ設定します。

6 [サービス] タブを開き、[Microsoft TCP/IP 印刷] が表示されていることを確認します。
表示されていない場合は、[追加] をクリックします。

7 [Microsoft TCP/IP 印刷] を選択し、[OK] をクリックします。

8 WindowsNT4.0 を再起動します。

イーサネットボードにIPアドレスを設定します

イーサネットボード付属のStandard Setup Utility（Windows）を使用して、イーサネットボードのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

Standard Setup Utilityの詳細については「第8章　イーサネットボードの管理」をご覧ください。
イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」を用意してください。

注 ・IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と十分相談の上、割り当てるアドレスを決定してください。

1 イーサネットボードをネットワークへ接続し、プリンタの電源をONにします。

2 イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をコンピュータへセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

注 自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［Windows］フォルダの中の［Autorun.exe］をダブルクリックしてください。

3 ［日本語］をクリックします。

［Setup Utility］画面が表示されます。

4 ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

5 ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

6 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックします。

［ AdminManager ］が起動します。

7 一覧より､イーサネットアドレスを参照して､設定を行うイーサネットボードを選択します。

MEMO
・イーサネットアドレス（MAC Address）は、イーサネットボードの自己診断テストに表示されています。

注
・初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合、サーバから取得したIPアドレスが表示されます。

8 ［ 設定 ］ メニューの ［ OKI Device の設定 ］ を選択します。

＜ TCP/IP プロトコルのみで動作している場合＞

①次のようなメッセージが表示されますので［ はい ］をクリックします。

②イーサネットアドレスとこれから設定する「IPアドレス」を入力し、［ OK ］ をクリックします。

③設定値を有効にするために ［ はい ］ をクリックします。

④暫くすると、一覧にイーサネットボードが表示されます。表示されたイーサネットボードを選択し、［ OKI Device の設定 ］ を選択します。

表示されてこない場合は ［ OKI Device の検索 ］ ボタンをクリックしてください。

9 TCP/IP タブの項目を設定し、[設定] をクリックします。

注
- 初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。
- RARP サーバ、DHCP サーバ、BOOTP サーバから IP アドレスを取得する場合は、ネットワーク環境に合わせてチェックを入れます。

10 設定に間違いがなければ、[はい] をクリックします。設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

11 設定値を有効にするため、[はい] をクリックします。

12 [ファイル] メニューの [アプリケーションの終了] を選択し、AdminManager を閉じます。引き続き、Setup Utility の [Exit] をクリックし、Setup Utility を終了します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

引き続き、プリンタソフトウェアをセットアップします。WindowsNT4.0にプリンタドライバの出力先を「ローカルプリンタ（LPT1：）」として追加してからセットアップを行ってください。

以下の説明は、WindowsNT Server 4.0日本語版にMICROLINE 8c(PS) をセットアップすることを例にしています。
「WindowsNT4.0 システムソフトウェア CD-ROM」を用意してください。

注 ・Administrator の権限でログインしてからセットアップしてください。

1 出力先を「ローカルプリンタ（LPT1：）」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

2 プリンタドライバのプロパティの［ ポート ］タブを開きます。

3 ［ ポートの追加 ］をクリックします。

4 ［ LPR Port ］を選択し、［ 新しいポート ］をクリックします。

注 ・［ LPR Port ］以外は選択しないでください。

5 ［ プリンタの IP アドレス ］と［ プリンタキュー名 ］を入力します。

注 プリンタキュー名は、必ず［ lp ］と入力してください。［ lp ］以外では正常な印刷ができません。

［ OK ］［ 閉じる ］をクリックします。
以上で設定は終了です。
アプリケーションソフトから印刷します。

NetBEUIプロトコルを利用します

WindowsNT4.0を設定します

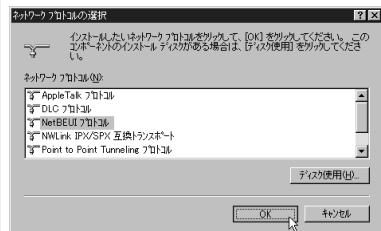
WindowsNT4.0に［ NetBEUIプロトコル ］を追加します。

・WindowsNT4.0を設定する場合は、Administratorの権限でログインする必要があります。

以下の説明は、WindowsNT Server 4.0日本語版を例にしています。OSのバージョンやシステム構成によって、画面表示や選択肢の内容が一部異なる場合があります。
「WindowsNT4.0システムソフトウェアCD-ROM」を用意してください。

1 ［ コントロールパネル ］の［ ネットワーク ］を起動します。

2 ［ プロトコル ］タブを開き、［ NetBEUIプロトコル ］が表示されていることを確認します。
表示されていない場合は、［ 追加 ］をクリックします。

3 ［ NetBEUIプロトコル ］を選択し、［ OK ］をクリックします。

4 WindowsNT4.0を再起動します。

プリンタソフトウェアをセットアップします

引き続き、プリンタソフトウェアをセットアップします。WindowsNT4.0にプリンタドライバの出力先を「ローカルプリンタ（LPT1：）」として追加してからセットアップを行ってください。

以下の説明は、WindowsNT Server 4.0日本語版にMICROLINE 8c(PS) をセットアップすることを例にしています。

注 ・Administratorの権限でログインしてからセットアップしてください。

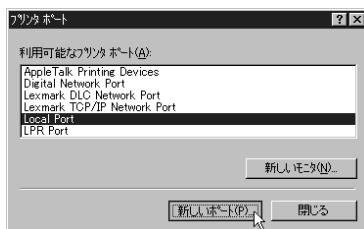
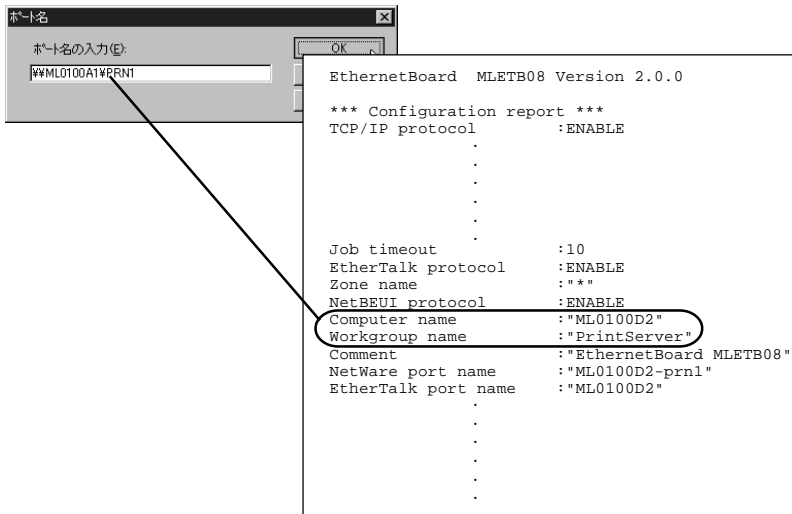
1 出力先を「ローカルプリンタ(LPT1:)」としてプリンタドライバをセットアップします。

プリンタドライバのセットアップ方法は、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

2 プリンタドライバのプロパティの［ポート］タブを開きます。

3 ［ポートの追加］をクリックします。

4 ［Local Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

注 ・［Local Port］以外は選択しないでください。

5 ［ポート名の入力］に「¥¥MLxxxxxx¥PRN1」と入力し、［OK］をクリックします。

MEMO
・［MLxxxxxx］は、イーサネットボードの設定内容の印刷に表示される［Computer Name］です。

以上で設定は終了です。
アプリケーションソフトから印刷します。

- ［Computer Name］名、［Workgroup Name］名は、Webブラウザ、TELNET等で変更できます。
- Master Browser機能は同一Workgroup内に存在するマシンの情報を管理し、他のWorkgroupからの一覧要求に応答する機能です。
- 本イーサネットボードのMaster Browser機能は、Workgroup名が「PrintServer」の場合にのみ起動します。
- Master Browser機能は、本イーサネットボード以外の管理はできません。他のWorkgroupに「PrintServer」の名前をつけると、本イーサネットボードがネットワークで見えなくなることがあります。
- Master Browser機能で管理できるイーサネットボードは最大8台です。
- 他のユーザ（他のプロトコルを含む）からのジョブの印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できません。

第 5 章

Macintosh から利用するには

5 Macintosh から利用するには

Macintosh から EtherTalk ネットワークを利用して印刷するために必要な Macintosh の設定を行います。

注 ・EtherTalk に対応していないプリンタでは使用できません。

Macintosh を設定します

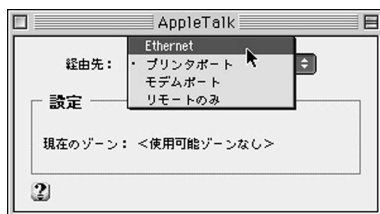
Macintosh の AppleTalk の経由先を Ethernet に変更します。

以下の説明は、MacOS9.0を例にしています。OSのバージョンやシステム構成によって、画面表示や選択肢の内容が一部異なる場合があります。

1 アップルメニューの［コントロールパネル］から［ AppleTalk ］を選択します。

注 OS のバージョンによっては、［ AppleTalk ］ではなく［ネットワーク］があります。

2 ［ Ethernet ］を選択し、［ AppleTalk ］を閉じます。

注 ［ネットワーク］の場合は、［ EtherTalk ］を選択してください。ゾーンや AppleTalk アドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

3 ダイアログが表示されたら、［保存］をクリックします。
メッセージの内容は、変更した内容により異なります。

注 コントロールパネルの［ AppleTalk ］の設定を［ Ethernet ］に切り替えると、LocalTalk に接続されている他のプリンタや Macintosh には接続できなくなります。LocalTalk に接続するには、再度［ AppleTalk ］の設定を［プリンタポート］に変更します。

プリンタソフトウェアをインストールします

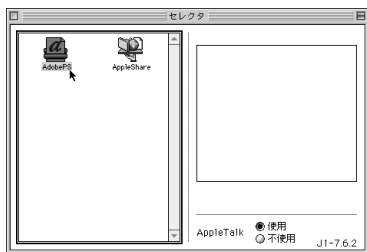
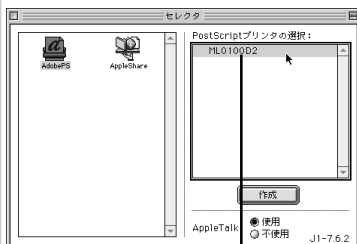
引き続き、プリンタソフトウェアをインストールします。

以下の説明は、MacOS9.0にMICROLINE 8cをインストールすることを例に説明しています。

1 Macintosh にプリンタドライバをインストールします。

プリンタドライバのインストール方法はプリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

2 アップルメニューからセレクタを選択します。

3 プリンタドライバをクリックします。

4 プリンタ名をクリックします。

プリンタ名はイーサネットボードの設定内容の印刷に表示されている「EtherTalk port name」です。

5 作成をクリックします。

プリンタ名の左側にアイコンが表示されたことを確認します。

6 セレクタを閉じます。

・複数の論理ゾーンで区切られているEtherTalk上で、プリンタを他のゾーンに変更したい場合は、「Setup Utility (Macintosh)」を使います。詳細は、「Setup Utility (Macintosh)を使います」（136 ページ）をご覧ください。

・プリンタ名を変更したい場合も「Setup Utility (Macintosh)」を使います。

第6章

UNIXから利用するには

6 UNIX から利用するには

UNIXワークステーションからTCP/IPネットワークを利用して印刷するために必要なイーサネットボードとUNIXワークステーションの設定を行います。

イーサネットボードにIPアドレスを設定します

UNIXやワークステーションに付属のTCP/IPソフトを使って、イーサネットボードのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定します。

注

- イーサネットボードの設定を変更する場合は、ユーザ名は「root」でログインする必要があります。「root」ユーザのパスワードの初期値は「なし」です。
- IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

以下の説明は、Sun Solaris2.4を例にしています。各コマンドの設定方法などはワークステーションにより異なることがあります。ご使用のUNIXワークステーションのマニュアルをご覧ください。

1 ワークステーションにルートでログインします。

注 スーパーユーザの権限を持っていない場合、ネットワーク管理者に設定を依頼してください。

2 ARPコマンドを使って、イーサネットボードに一時的なIPアドレスを設定します。

例：IPアドレスが「192.168.20.127」、
　イーサネットアドレスが「00:80:92:01:00:D2」の場合

```
# arp -s 192.168.20.127 00:80:92:01:00:D2  temp
```

```
EthernetBoard MLETB08 Version 2.0.0

*** Diagnostic report ***
   ROM Check  :  Ok  stat: 8166 FFFF 0000 0000
   RAM Check  :  Ok  stat: 0000 0000 0000 0000
   NIC Check  :  Ok  addr: 00:80:92:01:00:D2  10BASE-T(TPI)
EEPROM Check  :  Ok  stat: 884B 884B 0000 0000

      DIPSW1  :  OFF(ON:Test use only)
      DIPSW2  :  OFF(ON:Initialize configuration)
      DIPSW3  :  OFF(ON:Configuration print)
      DIPSW4  :  OFF(ON:Diagnostic print)
```

MEMO ・イーサネットアドレス（MAC Address）はイーサネットボードの自己診断テストに表示されています。

3 pingコマンドを使って、イーサネットボードとの接続を確認します。

例：IPアドレスが「192.168.20.127」

```
#ping 192.168.20.127
```

注 応答がない場合は、手順2のIPアドレスの設定、またはネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

4 TELNET でイーサネットボードにログインします。

例：IP アドレスが「192.168.20.127」のイーサネットボードにログインした場合の例

```
telnet  192.168.20.127
Trying 192.168.20.127 ...
Connected to 192.168.20.127
Escape character is '^]'.
EthernetBoard MLETB08 Ver 2.0.0 TELNET server.
login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  Message                    Value           (level.1)
---------------------------------------------------
   1 : Setup TCP/IP
   2 : Setup SNMP
   3 : Setup NetWare
   4 : Setup EtherTalk
   5 : Setup NetBEUI
   6 : Setup printer port
   7 : Display status
   8 : Setup printer trap
  97 : Reset to factory set
  98 : Quit setup
  99 : Exit setup
Please select(1-99)?
```

5 「1」を入力し、Enter キーを押します。次のように設定を行います。

```
Please select(1-99)? _1

No.   Message              Value
----------------------------------------
 1 : TCP/IP protocol      : ENABLE
 2 : IP address           : 192.168.20.127
 3 : Subnet mask          : 255.255.255.0
 4 : Gateway address      : 192.168.20.254
 5 : RARP protocol        : DISABLE
 6 : DHCP/BOOTP protocol  : DISABLE
 7 : root password        : ""
99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```


6 イーサネットボードからログアウトします。
新しい設定を有効にするために、プリンタの電源を OFF/ON します。

注 プリンタの電源をOFF/ONしない場合、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。必ず、プリンタの電源を OFF/ON してください。

Sun OS 4.x.x の設定

Sun OS 4.x.x 等の BSD 系 UNIX から印刷するための設定を行います。

注
・IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

以下の説明は、プリンタはMICROLINE 8c(PS) で、SunOS4.1.3を例にしています。OSのバージョンによって、コマンドの絶対パスや設定方法が異なる場合があります。ご使用のワークステーションのマニュアルをご覧ください。

設定方法

1 ワークステーションにルートでログインします。

注
・スーパーユーザの権限を持っていない場合、ネットワーク管理者に設定を依頼してください。

2 /etc/hostsファイルにイーサネットボードのIPアドレスとホスト名を登録します。

例： IP アドレスが「192.168.20.127」、ホスト名が「ML8c」の場合

```
192.168.20.127 ML8c
```

3 ping コマンドを使って、イーサネットボードとの接続を確認します。

例： ホスト名が「ML8c」の場合

```
# ping ML8c
```

・応答がない場合は、イーサネットボードの IP アドレスの設定、手順２の IP アドレスとホスト名の登録、または、ネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

4 /etc/printcap ファイルにプリンタを登録します。

例：直接出力ポート（lp）に、プリンタ名「ML8c_lp」を登録する場合

```
①→ ML8c_lp:\
②→      :lp=:rm=ML8c:rp=lp:\
③→      :sd=/usr/spool/ML8c_lp:\
④→      :lf=/usr/spool/ML8c_lp/ML8c_lp_errs:
```

＜各変数の意味＞
①プリンタ名を記述します。
② lp　：プリンタを接続するデバイスファイル名
　　　　指定する必要はありません。
　rm　：リモートプリンタのホスト名
　　　　手順 2 で /etc/hosts ファイルに登録したホスト名を入力します。
　rp　：リモートプリンタのプリンタ名
　　　　イーサネットボードの論理プリンタ名で lp,sjis,euc の
　　　　いずれかを選択します。
　　　　（論理プリンタ名については 53 ページを参照してください）
③ sd　：スプールディレクトリ　絶対パスで指定します。
④ lf　：エラーログファイル　絶対パスで指定します。

5 手順 4 で /etc/printcap ファイルに登録したスプールディレクトリとエラーログファイルを作成します。

例：スプールディレクトリ「ML8c_lp」及び、
　　エラーログファイル「ML8c_lp_errs」を作成する場合

```
# mkdir /usr/spool/ML8c_lp                 ←スプールディレクトリ作成
# touch /usr/spool/ML8c_lp/ML8c_lp_errs    ←エラーログファイル作成
# chown -R daemon /usr/spool/ML8c_lp       ←オーナーをdaemonに変更
# chgrp -R daemon /usr/spool/ML8c_lp       ←グループをdaemonに変更
```

6 lpd（プリンタデーモン）が起動しているかどうかを調べます。

```
# PS aux | grep lpd
```

lpdが動作していない場合、スーパーユーザのアカウントで下記のコマンドを実行してください。

```
# /usr/lib/lpd&
```

Sun Solaris 2.x の設定

Sun Microsystems 社の Solaris2.x から印刷するための設定を行います。

・リモートプリンタは通常OpenWindows上よりAdmintoolを使って登録を行いますが、Admintoolを使って登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため利用できません。リモートプリンタの登録を行う場合は、以下の方法で行ってください。
・Solaris 2.xはシステムの仕様上、リモートプリンタとの接続が長期間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。
・IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

以下の説明は、プリンタは MICROLINE 8c(PS) で、Sun Solaris2.4 を例にしています。OSのバージョンによって、コマンドの絶対パスや設定方法が異なる場合があります。ご使用のワークステーションのマニュアルをご覧ください。

設定方法

1 ワークステーションにルートでログインします。

・スーパーユーザの権限を持っていない場合、ネットワーク管理者に設定を依頼してください。

2 /etc/hostsファイルにイーサネットボードのIPアドレスとホスト名を登録します。

例： IP アドレスが「192.168.20.127」、ホスト名が「ML8c」の場合

```
192.168.20.127  ML8c
```

3 ping コマンドを使って、イーサネットボードとの接続を確認します。

例： ホスト名が「ML8c」の場合

```
# ping ML8c
```

注

・応答がない場合は、イーサネットボードの IP アドレスの設定、手順 2 の IP アドレスとホスト名の登録、または、ネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

4 手順２で登録したホストをプリントサーバとして登録します。

例：プリントサーバ「ML8c」を登録する場合

1. プリントスケジューラを停止します

```
# /usr/sbin/lpshut
```

2. プリントサーバを登録します

```
# /usr/sbin/lpsystem -t bsd ML8c
```

5 プリントキューを設定し有効にします。

例：プリントキュー「ML8c_lp」、ホスト「ML8c」で、
　　直接出力ポート「lp」を指定する場合

1. プリントキューを作成します

```
#/usr/sbin/lpadmin -p ML8c_lp -s ML8c!lp -I any
```

csh をご使用の場合は、「!」の代わりに「\!」または「¥!」としてください

2. プリントスケジューラを起動します

```
#/usr/bin/sh /etc/init.d/lp start
```

3. プリントキューを稼働させます

```
#/usr/sbin/accept ML8c_lp
```

4. プリントキューを有効にします

```
#/usr/bin/enable ML8c_lp
```

HP-UX 9.x の設定

ヒューレットパッカード社の HP-UX から印刷するための設定を行います。

注 ・IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

以下の説明は、プリンタは MICROLINE 8c(PS) で、HP-UX9.03 を例にしています。OS のバージョンによって、コマンドの絶対パスや設定方法が異なる場合があります。ご使用のワークステーションのマニュアルをご覧ください。

設定方法

1 ワークステーションにルートでログインします。

注 ・スーパーユーザの権限を持っていない場合、ネットワーク管理者に設定を依頼してください。

2 /etc/hostsファイルにイーサネットボードのIPアドレスとホスト名を登録します。

例： IP アドレスが「192.168.20.127」、ホスト名が「ML8c」の場合

```
192.168.20.127     ML8c
```

3 ping コマンドを使って、イーサネットボードとの接続を確認します。

例： ホスト名が「ML8c」の場合

```
# ping ML8c
```

注 ・応答がない場合は、イーサネットボードの IP アドレスの設定、手順 2 の IP アドレスとホスト名の登録、または、ネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

4 使用しているHP-UXマシンに、リモートスプーラが設定されていない時は以下の設定を行ってください。

1. プリンタスプーラを停止します

```
#/usr/lib/lpshut
```

2./etc/inetd.conf ファイルに以下の行を追加し、リモートスプーラを登録します

```
printer stream tcp nowait root /usr/lib/rlpdaemon -i
```

3.inetd を再起動します

```
#/etc/inetd -c
```

5 リモートプリンタを登録します。

例：プリントキュー「ML8c_lp」、ホスト名「ML8c」で、
　　直接出力ポート「lp」を指定する場合

1. リモートプリンタを登録します

```
#/usr/lib/lpadmin -pML8c_lp -mrmodel -ormML8c
-orplp -ocmrcmodel -osmrsmodel -ob3 -v/dev/null
```

2. プリントキューを稼働します

```
#/usr/lib/accept ML8c_lp
```

3. プリントキューを有効にします

```
#/usr/bin/enable ML8c_lp
```

4. プリンタスプーラを起動します

```
#/usr/lib/lpsched
```

AIX 4.1.5 の設定

IBM 社の AIX から印刷するための設定を行います。

注 ・IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

以下の説明は、プリンタは MICROLINE 8c(PS) で、AIX4.1.5 を例にしています。OS のバージョンによって、コマンドの絶対パスや設定方法が異なる場合があります。ご使用のワークステーションのマニュアルをご覧ください。

設定方法

1 ワークステーションにルートでログインします。

注 ・スーパーユーザの権限を持っていない場合、ネットワーク管理者に設定を依頼してください。

2 /etc/hostsファイルにイーサネットボードのIPアドレスとホスト名を登録します。

例： IP アドレスが「192.168.20.127」、ホスト名が「ML8c」の場合

```
192.168.20.127        ML8c
```

3 ping コマンドを使って、イーサネットボードとの接続を確認します。

例： ホスト名が「ML8c」の場合

```
# ping ML8c
```

注 ・応答がない場合は、イーサネットボードの IP アドレスの設定、手順 2 の IP アドレスとホスト名の登録、または、ネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

4 手順２で登録したホストをプリントサーバとして登録します。

例：プリントサーバ「ML8c」を登録する場合

1.プリントサーバを追加します

```
# ruser -a -p ML8c
```

2.リモートプリンタデーモンを起動します

```
# startsrc -s lpd
# mkitab 'lpd:2:once:startsrc -s lpd'
```

5 smit コマンドを利用してプリントキューの追加を行います。

1.smit コマンドを起動し、「印刷待ち行列の追加」の項目へ移行します

```
# smit mkrque
```

2.「接続タイプ」から「remote」（リモートホストに接続されたプリンタ）を選択します

3.「リモート印刷のタイプ」から「標準処理」を選択します

4.「標準リモート印刷待ち行列の追加」で以下の項目を設定します
（下記以外の設定はご利用環境に応じて変更してください。）

例：プリントキュー「ML8c_lp」、プリントサーバ「ML8c」で、
直接出力ポート「lp」を指定する場合

追加する待ち行列	**[ML8c_lp]**
リモートサーバのホスト名	**[ML8c]**
リモートサーバ上の待ち行列名	**[lp]**
リモートサーバ上の印刷スプーラのタイプ	**[BSD]**
リモートサーバ上のプリンタ名記述	［任意のコメント］

LPD で印刷します

TCP/IP のLPDプロトコル(lpr，lp コマンド）を使用して印刷する方法を説明します。lpr, lpコマンドの詳細は、ご使用のワークステーションのマニュアルをご覧ください。以下の説明は、印刷ファイル「test.prn」を、プリンタ名「ML8c_lp」に印刷する場合を例にしています。

LPD について

LPD（Line Printer Daemon）は、ネットワーク上のプリンタに印刷するためのプロトコルです。

論理プリンタについて

本イーサネットボードには 3 つの論理プリンタがあります。
プリンタドライバを使ったファイルを印刷する場合は「lp」論理プリンタへ、
シフトJIS漢字コードのテキストファイルを印刷する場合は「sjis」論理プリンタへ、
EUC 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合は「euc」論理プリンタへ印刷する必要があります。

論理	プリンタ機能
lp	直接出力用
sjis	シフト JIS 漢字変換出力用
euc	EUC 漢字変換出力用

注 ・「sjis」「euc」は、ポストスクリプトプリンタのみの機能です。その他のプリンタでは使用できません。

印刷ファイルについて

例：test.prn (PostScript ファイル)

```
% !
/ Times-Roman findfont 32 scalefont
setfont
150 500 moveto
(MICROLINE 8c) show
showpage
```

BSD系UNIXの場合

印刷

「lpr」コマンドを使用して、印刷します。

```
# lpr -PML8c_lp test.prn
```

印刷要求を取り消す

「lprm」コマンドを使用して、印刷JOBを取り消します。
例：「ML8c_lp」への印刷JOB、123番を削除する場合

```
# lprm -PML8c_lp 123
```

プリンタの状態を確認する

「lpq」コマンドを使用して、プリンタの状態を確認します。

注
- UNIX側の仕様により正常に表示できない場合があります。
- lpqのショートフォーマットはUNIX互換フォーマットですが、ロングフォーマットはプリンタの状態を表示する本イーサネットボード独自のフォーマットです。

例：ショートフォーマットの場合

```
# lpq -PML8c_lp
```

例：ロングフォーマットの場合

```
#lpq -l -PML8c_lp
```

SystemV系UNIXの場合

印刷

「lp」コマンドを使用して印刷します。

```
lp -d ML8c_lp test.prn
```

印刷要求を取り消す

「cancel」コマンドを使用して、印刷JOBを取り消します。
例：ML8c_lpへの印刷JOB、456番を削除する場合

```
# cancel ML8c_lp-456
```

プリンタの状態を確認する

「lpstat」コマンドを使用して、プリンタの状態を確認します。

注 ・Solaris2.x等、UNIX側の仕様により正常に表示できない場合があります。

```
# lpstat -pML8c_lp
```

FTP で印刷します

TCP/IPのFTPプロトコル（ftpコマンド）を使用して印刷する方法を説明します。ftpコマンドの詳細は、ご使用のワークステーションのマニュアルをご覧ください。
以下の説明は、印刷ファイル「test.prn」を、ホスト名「ML8c」に印刷する場合を例にしています。

FTP について

FTP（File Transfer Protocol）は、TCP/IP でファイルを転送するためのプロトコルです。本イーサネットボードの論理ディレクトリに対して、印刷データを転送することで印刷ができます。

論理ディレクトリについて

本イーサネットボードには 3 つの論理ディレクトリがあります。
プリンタドライバを使ったファイルを印刷する場合は「lp」論理ディレクトリへ、シフトJIS漢字コードのテキストファイルを印刷する場合は「sjis」論理ディレクトリへ、EUC漢字コードのテキストファイルを印刷する場合は「euc」論理ディレクトリへ、印刷ファイルを転送します。

＜イーサネットボードの論理ディレクトリ構成＞

注 ・「sjis」「euc」は、ポストスクリプトプリンタのみの機能です。その他のプリンタでは使用できません。

印刷ファイルについて

例：test.prn（PostScript ファイル）

```
% !
/ Times-Roman findfont 32 scalefont
setfont
150 500 moveto
(MICROLINE 8c) show
showpage
```

印刷

1 イーサネットボードへログインします。

注 ・ftp で印刷する場合、「Name」と「Password」にどのような値を入力をしても印刷可能です。ただし、「Name」が「root」の場合は TELNET やユーティリティ（102 ページ）などで設定した「パスワード」が必要となります。

例：ホスト名「ML8c」のイーサネットボード
（または、IP アドレス「192.168.20.127」）にログインする場合

```
#ftp ML8c  （または、ftp 192.168.20.127 ）
Connected to ML8c
220 EthernetBoad MLETB08 Ver 2.0.0 FTP server
Name (ML8c:root): root
331 Password required.
Password:
230 User Logged in.
ftp>
```

2 cd コマンドで、転送先ディレクトリへ移動します。

注 ・イーサネットボードは、転送先ディレクトリが階層構造になっています。必ず転送先ディレクトリへ移動してください。ルートディレクトリへの印刷データの出力はできません。

例：lp ディレクトリへ移動し、現在のディレクトリを確認する場合

```
ftp>cd /lp
250 Command OK.
ftp>pwd
257"/lp" is current directory.
ftp>
```

3 転送モードを設定します。

注 ・転送モードには、ファイルの内容をそのまま出力する「BINARYモード」とLFコードをCR+LFコードに変換する「ASCIIモード」の2種類があります。プリンタドライバで変換されたバイナリファイルを転送する場合は、転送モードを「BINARYモード」に設定します。

例：転送モードをBINARYモードに変更し、現在のモードを確認する場合

```
ftp> type binary
200 Type set to I.
ftp> type
Using binary mode to transfer files.
ftp>
```

4 putコマンドで、印刷データをイーサネットボードへ転送します。

putコマンドによるファイル転送には、2種類の形式があります。

例：印刷データ「test.prn」を転送する場合

```
ftp> put test.prn
```

例：印刷データを絶対パス「/users/test/test.prn」で指定して転送する場合

```
ftp> put /users/test/test.prn /lp
```

・印刷データを絶対パスで指定する場合は、転送先論理ディレクトリを指定します。cdコマンドでディレクトリを移動する必要はありません。

5 quitコマンドで、イーサネットボードからログアウトします。

```
ftp> quit
```

プリンタの状態を確認する

quote コマンドの「stat」を使って、IP アドレス、ログインユーザ名、転送モードの 3 つの状態を確認することができます。
また、stat の後にディレクトリ（lp,sjis,euc）を指定すると、プリンタの状態を確認することができます。

例：イーサネットボードの状態表示

```
ftp> quote stat
211-FTP server status:
Connected to:   192.9.200.82.128.30
User logged in: guest
Transfer type:  BINARY
Data connection:Closed.
211 End of status.
ftp>
```

例：イーサネットボード（ディレクトリ名：lp）の状態表示

```
ftp> quote stat /lp
211-FTP directory status:
Ready
211 End of status.
ftp>
```

第7章

NetWareから利用するには

7 NetWareから利用するには

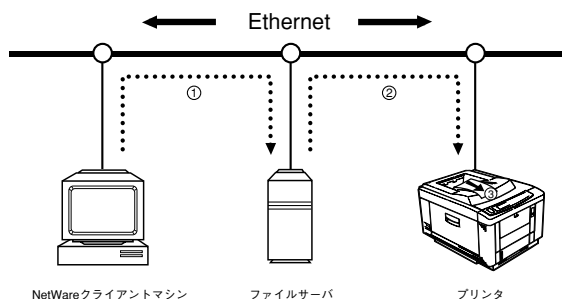
ノベル社のNetWare4.1J及びNetWare3.12Jネットワーク環境を利用して印刷するために必要なNetWareサーバとイーサネットボードの設定を行います。

設定を行うには、ファイルサーバのadmin及びsupervisorの権限を持っている必要があります。NetWare管理者にイーサネットボードの設定を依頼してください。なお本内容は、NetWareの基本的な知識や操作方法を理解していただいてるNetWare管理者を対象に説明しています。ノベル社のNetWareのマニュアルと併用してご覧ください。

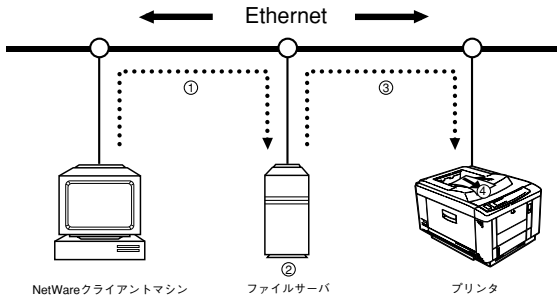
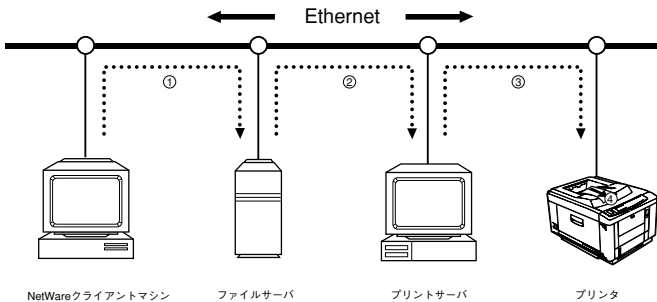
NetWareについて

プリンタは、ノベル社のNetWareネットワーク環境に直接接続して印刷することが可能です。NetWare4.1J（NDSモード、バインダリモード）及びNetWare3.12Jを使用する場合に、次の２つのモードをサポートしています。

プリントサーバモード

プリントサーバモードでは、①ファイルサーバ上のプリントキューにジョブが記憶されると、②プリントサーバとなったプリンタが、直接プリントキューへアクセスして、ジョブを取り出し、③印刷処理を直ちに実行します。
プリンタがプリントサーバの役目をするため、他のプリントサーバ（ファイルサーバ上やプリントサーバ専用のワークステーション）を必要としません。

リモートプリンタモード

リモートプリンタモードでは、①ファイルサーバ上のプリントキューにジョブが記憶されると、②プリントサーバ（ファイルサーバ上、またはプリントサーバ専用ワークステーション）がジョブを取り出し、③プリントキューに割り当てられたプリンタに、ジョブを転送します。④プリンタは、ジョブを受け取って印刷処理を実行します。通常のNetWareのプリント機能（PSERVER.NLM/EXE）を利用するモードです。既存のプリントサーバが利用できます。

＜ PSERVER.NLM の場合＞
ファイルサーバがプリントサーバの機能を持ちます。

＜ PSERVER.EXE の場合＞
1 台のパソコンが専用のプリントサーバになります。

NetWare4.1J プリントサーバモード（NDS）

NetWare4.1JにはNDSネットワークとバインダリネットワークがあります。

NDSネットワーク

NetWare4.1JプリントサーバモードをNDSネットワークで利用するために必要なファイルサーバとイーサネットボードの設定を行います。

・NetWare4.1Jプリントサーバモードをバインダリネットワークで利用する場合は82ページをご覧ください。
・NetWare4.1Jリモートプリンタモードを利用する場合は93ページをご覧ください。
・NetWare3.12J環境を利用する場合は100ページをご覧ください。

以下の説明は、NetWare4.1Jを例にしています。OSのバージョンやシステム構成によって、画面表示や選択肢の内容が一部異なる場合があります。
NetWareのNDSツリー「ODCSOFT」、adminユーザが存在するコンテキスト「ENG7」、プリントサーバなどを作成するコンテキスト「SOFT22.ENG7」、
ファイルサーバ「SOFT22-NW4」の環境にイーサネットボードを接続します。

NDSでPCONSOLEを起動します

NetWareサーバへログインするためのネットワークドライブ名はF:を例にしています。

1 クライアントでCXコマンドを使ってadminが存在するコンテキストへ移動します。
ここではコンテキスト「ENG7」へ移動します。

F:¥>cx ENG7

2 クライアントからファイルサーバにadminの権限でログインします。
ここではファイルサーバ「SOFT22-NW4」へログインします。
ログイン入力後、パスワードを入力してください。

F:¥>Login SOFT22-NW4/admin

3 CXコマンドを使って、プリントサーバ、プリンタ、プリントキューを作成するディレクトリへ移動します。
ここでは「SOFT22」へ移動します。

F:¥>cx　SOFT22

4 PCONSOLEを起動します。

F:¥>pconsole

［利用可能な項目］が表示されます。

利用可能な項目
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
ｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｺﾝﾃｷｽﾄの変更

プリントサーバ、プリンタ、プリントキューを作成します

1 [クイックセットアップ]を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
ｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｺﾝﾃｷｽﾄの変更

2 プリントサーバ名、プリンタ名、プリントキュー名が自動的に作成されます。必要に応じて変更します。
ここでは、プリントサーバ名「 8C-PSERVER 」、プリンタ名「 P1 」、プリントキュー名「 Q1-PS 」と入力します。

注 バナータイプはプリンタに合わせて作成します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾋﾞｽｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ	
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ：	8C-PSERVER
新しいﾌﾟﾘﾝﾀ：	P1
新しいﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ：	Q1-PS
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰﾎﾞﾘｭｰﾑ：	SOFT22-NW4_SYS
ﾊﾞﾅｰﾀｲﾌﾟ：	ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾀﾀｲﾌﾟ：	ﾊﾟﾗﾚﾙ
位置：	手動ﾛｰﾄﾞ
割込み：	なし（ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞﾓｰﾄﾞ）
ﾎﾟｰﾄ：	LPT1

3 [変更を保存しますか？]と表示されるまでESC キーを押し、[Yes] を選択し、Enter キーを押します。

変更を保存しますか？
No
Yes

PCONSOLE を終了します

1 [終了しますか？] が表示されるまでESCキーを押し、[Yes] を選択し、Enter キーを押します。

2 ファイルサーバからログアウトします。

F:¥>Logout

イーサネットボードを設定します

Standard Setup Utility（Windows）を使った設定を説明します。
Setup Utility（Macintosh）、TELNETなどでも設定できます。以下の説明を参考の上、お使いのネットワーク環境にあったユーティリティをご利用ください。

注
- NetWare のファイルサーバ及びプリントサーバが正常に起動している状態で、ユーティリティを使用してください。
- プリンタの電源は、ファイルサーバ及びプリントサーバが正常に起動している状態で ON にしてください。また、プリンタの電源が OFF の場合はイーサネットボードの設定は行えません。

Standard Setup Utilityが起動した状態から説明します。ユーティリティのセットアップ方法は「第 8 章　イーサネットボードの管理」をご覧ください。

1 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

MEMO イーサネットアドレス（MAC Address）は、イーサネットボードの自己診断テストに表示されています。

注 NetWare ファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は［オプション］メニューの［環境設定］を選択し、［NetWare］タブをクリックします。
［検索するネットワークを指定する］を選択し、イーサネットボードが存在する NetWare ネットワークアドレスを入力し、［登録］をクリックします。メイン画面で［ファイル］メニューの［OKI Deviceの検索］をクリックすれば、指定した NetWare ネットワークアドレス内だけが検索されます。

2 ［ 設定 ］ メニューの ［ OKI Device の設定 ］ を選択します。

3 ［ NetWare ］ タブをクリックします。

4 NetWare 設定画面で、次の項目を入力します。

「 プリントサーバ名 」を入力します。ここでは「 8C-PSERVER 」と入力します。

注 77 ページで作成した「プリントサーバ名」と必ず一致させてください。

［ プリントサーバ ］ を選択します。

「 プリンタ名 」を入力します。
ここでは「 P1 」と入力します。

注 77 ページで作成した「プリンタ名」と必ず一致させてください。

5 NetWare 設定画面の［ プリントサーバ詳細 ... ］をクリックし、次の項目を入力し、［ OK ］をクリックします。

ファイルサーバにログインするための「パスワード」を設定します。プリントサーバにパスワードを設定した場合に入力します。

サーバに JOB の問い合わせをする間隔を秒単位で指定します。通常は 4 秒（初期設定）のままご使用ください。

6 NetWare 設定画面の［ NDS 設定 ... ］をクリックし、次の項目を入力し、［ OK ］をクリックします。

バインダリモードを許可するかどうか設定します。NetWare4.1J の NDS のみで使用する時は、チェックを外します。チェックを外すと、NetWare4.1Jのバインダリ及びNetWare3.12Jから使用することはできません。

ファイルサーバの存在する「 ツリー名 」を入力します。ここでは「 ODCSOFT 」と入力します。

注 ログインしたファイルサーバ（76 ページ）がある「ツリー名」と必ず一致させてください。

プリントサーバを作成した「 コンテキスト名」を設定します。ここでは「 SOFT22.ENG7 」と入力します。

注 プリントサーバを作成した「コンテキスト名」（76 ページ）と必ず一致させてください。

7 全ての設定が終了したら、NetWare 設定画面で、[設定] をクリックします。

8 設定に間違いがなければ、[はい]をクリックします。
設定値がイーサネットボードに送信されます。

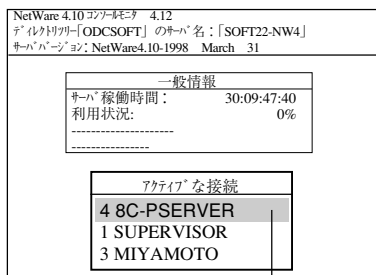
注 ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

9 設定値を有効にするため、[はい] をクリックします。

注 ここで[いいえ]を選択した場合、プリンタの電源を OFF/ON すれば設定値が反映されます。
プリンタによっては、プリンタの電源を OFF/ON する必要があります。

10 ファイルサーバの [NetWare4.1 コンソールモニタ] 上に、設定したプリントサーバ名が表示されればファイルサーバへの接続は完了です。

表示されない場合は、ファイルサーバとイーサネットボードの設定を最初からやり直してください。

< NetWare4.1 コンソールモニタ >

「利用可能ｵﾌﾟｼｮﾝ」の「接続情報」を選択した画面

NetWare4.1Jプリントサーバモード（ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘ）

NetWare4.1J には NDS ネットワークとバインダリネットワークがあります。

バインダリネットワーク

NetWare4.1Jプリントサーバモードをバインダリネットワークで利用するために必要なファイルサーバとイーサネットボードの設定を行います。

注
- バインダリサービスを利用するためには、ファイルサーバにバインダリコンテキストの指定が行われている必要があります。あらかじめ、サーバコンソールより次の設定を行ってください。

  バインダリコンテキスト「OU=SOFT22.O=ENG7」の場合

  ```
  set Bindery Context = OU=SOFT22.O=ENG7
  ```

- NetWare4.1J プリントサーバモードを NDS ネットワークで利用する場合は76 ページをご覧ください。
- NetWare4.1J リモートプリンタモードを利用する場合は 93 ページをご覧ください。
- NetWare3.12J 環境を利用する場合は 100 ページをご覧ください。

以下の説明は、NetWare4.1J を例にしています。OS のバージョンやシステムの構成によって、画面表示や選択肢の内容が一部異なる場合があります。
NetWareのNDSツリー「ODCSOFT」、adminユーザが存在するコンテキスト「ENG7」、プリントサーバなどを作成するコンテキスト「SOFT22.ENG7」、ファイルサーバ「SOFT22-NW4」の環境にイーサネットボードを接続します。

バインダリで PCONSOLE を起動します

NetWareサーバへログインするためのネットワークドライブ名は F:　を例にしています。

1 クライアントからバインダリモードのスーパバイザで、ファイルサーバにログインします。
ここではファイルサーバ「SOFT22-NW4」にログインします。
ログイン入力後、パスワードを入力してください。

```
F:¥>Login SOFT22-NW4/supervisor/B
```

2 PCONSOLE を起動します。

```
F:¥>pconsole
```

［利用可能な項目］が表示されます。

利用可能な項目
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
ｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ
NetWareｻｰﾊﾞの変更

プリントキューを作成します

1 ［ プリントキュー ］を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
- ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
- ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
- ｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ
- NetWareｻｰﾊﾞの変更

2 Ins キーを押して、新しく作成するプリントキュー名を入力し、Enter キーを押します。
ここでは「 Q-8C 」と入力します。

新ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ名：Q-8C

「 Q-8C 」というプリントキューが作成されます。

プリントサーバを登録します

1 ［ プリントサーバ ］を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
- ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
- ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
- ｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ
- NetWareｻｰﾊﾞの変更

2 次のようなメッセージが表示されます。Enter キーを押し続行します。

NetWare 4ｻｰﾊﾞ上でﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘｴﾐｭﾚｰｼｮﾝを使用しています。NDSﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞは,
ここでなされた環境設定にはｱｸｾｽすることができなくなります。
NetWare 4ｻｰﾊﾞ上でNetWare 4ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞを実行するには,
NDSﾓｰﾄﾞでﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞを作成し,環境設定をする必要があります.
続行するには<Enter>を押してください。

3 Ins キーを押して、新しく作成するプリントサーバ名を入力し、Enter キーを押します。
ここでは「 8C-PSERVER 」と入力します。

新ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名：8C-PSERVER

「 8C-PSERVER 」というプリントサーバが登録されます。

プリントサーバが管理するプリンタを作成します

1 作成したプリントサーバを選択し、Enter キーを押します。
ここでは「 8C-PSERVER 」を選択します。

2 ［ プリンタ ］ を選択し、Enter キーを押します。

3 Ins キーを押して、新しく作成するプリンタ名を入力し、Enter キーを押します。
ここでは「 ML8C 」と入力します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ: ML8C

「 ML8C 」が作成されます。

定義済みのﾌﾟﾘﾝﾀ	番号 ｽﾃｰﾀｽ
ML8C	0　[c]

プリンタにプリントキューを割当てます

1 作成したプリンタを選択し、Enter キーを押します。
ここでは「 ML8C 」を選択します。

定義済みのﾌﾟﾘﾝﾀ	番号 ｽﾃｰﾀｽ
ML8C	0　[c]

2 ［ バナータイプ ］ を選択し、Enter キーを押します。

3 ［ テキスト ］ または ［ ポストスクリプト ］ を選択し、Enter キーを押します。

使用可能なﾊﾞﾅｰﾀｲﾌﾟ
ﾃｷｽﾄ
ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ

4 ［ プリントキュー割当て ］を選択し、Enter キーを押します。

5 Ins キーを押して、［ 使用可能プリントキュー ］ から、作成したプリントキューを選択し、Enter キーを押します。
ここでは「 Q-8C 」を選択します。

使用可能ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
Q-8C

6 プリントキューの優先順位を入力し、Enter キーを押します。
ここでは「 1 」と入力します。

使用可能ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
Q-8C
優先順位：1

プリントキューが割当てられました。

NetWareｻｰﾊﾞ¥ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ	優先順位	ｽﾃｰﾀｽ
SOFT22-NW4¥Q-8C	1	[c]

7 [変更を保存しますか？] と表示されるまで ESC キーを押し、[Yes] を選択し、Enter キーを押します。

変更を保存しますか？
No
Yes

NDS モードで PCONSOLE を起動し直します

バインダリモードで作成したキューを、NDS モードで他のコンテキストユーザが利用できるように設定を行います。

NDS モードで他のコンテキストユーザが利用する必要がない場合は、以下の設定を行う必要はありません。「イーサネットボードを設定します」へ進んでください。

1 [終了しますか？] が表示されるまでESCキーを押し、[Yes] キーを選択し、Enter キーを押します。

2 一旦、ファイルサーバからログアウトします。

F ：¥ ＞ Logout

3 CXコマンドを使って、adminが存在するディレクトリへ移動します。
ここではディレクトリ「 ENG7 」へ移動します。

F ：¥ ＞ cx ENG7

4 ファイルサーバに、admin として NDSモードで､ログインし直します。
ここでは、ファイルサーバ「 SOFT22-NW4 」にログインし直します。
ログイン入力後、パスワードを入力してください。

```
F: >¥Login  SOFT22-NW4/admin
```

5 CX コマンドを使って、バインダリコンテキストで指定したディレクトリへ移動します。
ここでは「 SOFT22 」へ移動します。

```
F:¥>cx  SOFT22
```

6 PCONSOLE を起動します。

```
F:¥>pconsole
```

［ 利用可能な項目 ］が表示されます。

利用可能な項目
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
ｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｺﾝﾃｷｽﾄの変更

プリンタを作成します

1 ［ プリンタ ］ を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
ｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｺﾝﾃｷｽﾄの変更

2 Ins キーを押して、バインダリモードで作成したプリンタ名 (84ページ) を入力し、Enter キーを押します。
ここでは「 ML8C 」と入力します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾀ: ML8C
```

「 ML8C 」が作成されます。

ﾌﾟﾘﾝﾀ
ML8C

プリンタにプリントキューを割当てます

1 作成したプリンタを選択し、Enter キーを押します。
ここでは「 ML8C 」を選択します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ
ML8C

2 [バナータイプ] を選択し、Enter キーを押します。

3 [テキスト] または [ポストスクリプト] を選択し、Enter キーを押します。

使用可能なﾊﾞﾅｰﾀｲﾌﾟ
ﾃｷｽﾄ
ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ

4 [プリントキュー割当て]を選択し、Enter キーを押します。

5 Ins キーを押して、[オブジェクト，クラス] の中から、バインダリモードで作成したプリントキュー（83ページ）を選択し、Enter キーを押します。ここでは「 Q-8C 」を選択します。

ｵﾌﾞｼﾞｪｸﾄ,ｸﾗｽ	
.... *	(ﾍﾟｱﾚﾝﾄ)
Q-8C	(ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ)

プリントキューが割当てられました。

ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ	優先順位	ｽﾃｰﾀｽ
Q-8C	1	[C][D]

6 [変更を保存しますか？] と表示されるまでESC キーを押し、[Yes] を選択し、Enter キーを押します。

変更を保存しますか？
No
Yes

ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰの使用を許可するﾃﾞｨﾚｸﾄﾘﾕｰｻﾞまたはｸﾞﾙｰﾌﾟを指定します

1 ［ 利用可能な項目 ］の［ プリントキュー ］を選択し、Enter キーを押します。

```
利用可能な項目
 ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
 ﾌﾟﾘﾝﾀ
 ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
 ｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ
 ｺﾝﾃｷｽﾄの変更
```

2 バインダリモードで作成したプリントキュー(83ページ)を選択し､Enter キーを押します。
ここでは「 Q-8C 」を選択します。

3 ［ プリントキュー情報 ］から［ ユーザ ］を選択し、Enter キーを押します。

4 ［ プリントキューユーザ ］で Ins キーを押します。
［ オブジェクト,クラス ］の中より､ユーザまたはグループを選択し､Enter キーを押します。

```
ｵﾌﾞｼﾞｪｸﾄ,ｸﾗｽ
...            * (ﾍﾟｱﾚﾝﾄ)
.              (ｶﾚﾝﾄｺﾝﾃｷｽﾄ)
+NETWORK_G     (部門)
+SOFT22        (部門)
Admin          (ﾕｰｻﾞ)
miyamoto       (ﾕｰｻﾞ)
```

ユーザまたはグループが登録されます。

PCONSOLE を終了します

1 ［ 終了しますか？］が表示されるまでESC キーを押し､［ Yes ］キーを選択し、Enter キーを押します。

2 ファイルサーバからログアウトします。

```
F:¥>Logout
```

イーサネットボードを設定します

Standard Setup Utility（Windows）を使った設定を説明します。
Setup Utility（Macintosh）、TELNETなどでも設定できます。以下の説明を参考の上、お使いのネットワーク環境にあったユーティリティをご利用ください。

- NetWare のファイルサーバ及びプリントサーバが正常に起動している状態で、ユーティリティを使用してください。
- プリンタの電源は、ファイルサーバ及びプリントサーバが正常に起動している状態で ON にしてください。また、プリンタの電源が OFF の場合はイーサネットボードの設定は行えません。

Standard Setup Utilityが起動した状態から説明します。ユーティリティのセットアップ方法は「第 8 章　イーサネットボードの管理」をご覧ください。

1 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

MEMO イーサネットアドレス（MAC Address）は、イーサネットボードの自己診断テストに表示されています。

注 NetWareファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は［オプション］メニューの［環境設定］を選択し、［NetWare］タブをクリックします。［検索するネットワークを指定する］を選択し、イーサネットボードが存在するNetWareネットワークアドレスを入力し、［登録］をクリックします。メイン画面で［ファイル］メニューの［OKI Device の検索］をクリックすれば、指定したNetWareネットワークアドレス内だけが検索されます。

2 [設定] メニューの [OKI Device の設定] を選びます。

3 [NetWare] タブをクリックします。

4 NetWare 設定画面で、次の項目を設定します。

「 プリントサーバ名 」を入力します。ここでは「 8C-PSERVER 」と入力します。

注 NetWare4.1J では 83 ページ、NetWare3.12J では 101 ページで作成した「プリントサーバ名」と必ず一致させてください。

[プリントサーバ] を選択します。

「 プリンタ名 」を入力します。ここでは「 ML8C 」と入力します。

注 NetWare4.1J では 84 ページ、NetWare3.12J では 101 ページで作成した「プリンタ名」と必ず一致させてください。

5 NetWare設定画面の［ プリントサーバ詳細... ］をクリックし、次の項目を入力し、［ OK ］ をクリックします。

プリンタを管理する「 ファイルサーバ名」を入力します。ここでは「 SOF22-NW4」と入力します。

注 NetWare4.1J では 82 ページ、NetWare3.12J では 100 ページでログインした「ファイルサーバ」と必ず一致させてください。

ファイルサーバにログインするための「パスワード」を設定します。プリントサーバにパスワードを設定した場合に入力します。

サーバに JOB の問い合わせをする間隔を秒単位で指定します。通常は 4 秒（初期設定）のままご使用ください。

6 全ての設定が終了したら、NetWare 設定画面で、［ 設定 ］ をクリックします。

7 設定に間違いがなければ、［ はい ］をクリックします。
設定値がイーサネットボードに送信されます。

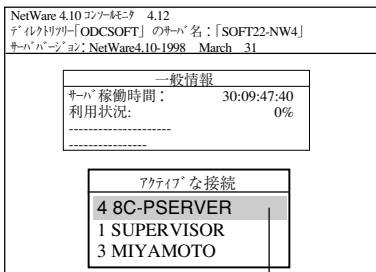
注 ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

8 設定値を有効にするため、［ はい ］をクリックします。

注 ここで[いいえ]を選択した場合、プリンタの電源をOFF/ONすれば設定値が反映されます。
プリンタによっては、プリンタの電源をOFF/ONする必要があります。

9 ファイルサーバの［ NetWare4.1コンソールモニタ ］上に、設定したプリントサーバ名が表示されればファイルサーバへの接続は完了です。

表示されない場合は、ファイルサーバとイーサネットボードの設定を最初からやり直してください。

< NetWare4.1 コンソールモニタ>

「利用可能ｵﾌﾟｼｮﾝ」の「接続情報」を選択した画面

NetWare4.1J リモートプリンタモード

NetWare4.1Jリモートプリンタモードを利用するために必要なファイルサーバとイーサネットボードの設定を行います。

・NetWare4.1Jプリントサーバモードを NDS ネットワークで利用する場合は 76 ページをご覧ください。
・NetWare4.1Jプリントサーバモードをバインダリネットワークで利用する場合は 82 ページをご覧ください。
・NetWare3.12J 環境を利用する場合は 100 ページをご覧ください。

以下の説明は、NetWare4.1J を例にしています。OS のバージョンやシステム構成によって画面表示や選択肢の内容が一部異なる場合があります。
NetWareのNDSツリー「ODCSOFT」、adminユーザが存在するコンテキスト「ENG7」、プリントサーバなどを作成するコンテキスト「SOFT22.ENG7」、
ファイルサーバ「SOFT22-NW4」の環境にイーサネットボードを接続します。

NDS で PCONSOLE を起動します

NetWareサーバへログインするためのネットワークドライブ名は F: を例にしています。

1 クライアントで CX コマンドを使って admin が存在するコンテキストへ移動します。
ここではコンテキスト「 ENG7 」へ移動します。

F:¥>cx ENG7

2 ファイルサーバに、admin の権限でログインします。
ここではファイルサーバ「 SOFT22-NW4 」へログインします。
ログイン入力後、パスワードを入力してください。

F:¥>Login SOFT22-NW4/admin

3 CXコマンドを使って、プリントサーバ、プリンタ、プリントキューを作成するディレクトリへ移動します。
ここでは「 SOFT22 」へ移動します。

F:¥>cx SOFT22

4 PCONSOLE を起動します。

F:¥>pconsole

［ 利用可能な項目 ］が表示されます。

利用可能な項目
プリントキュー
プリンタ
プリントサーバ
クイックセットアップ
コンテキストの変更

プリントサーバ、プリンタ、プリントキューを作成します

1 ［ クイックセットアップ ］を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
プリントキュー
プリンタ
プリントサーバ
クイックセットアップ
コンテキストの変更

2 プリントサーバ名、プリンタ名、プリントキュー名が自動的に作成されます。必要に応じて変更します。
ここでは、プリントサーバ名「 8C-PSERVER 」、プリンタ名「 P1 」、プリントキュー名「 Q1-PS 」と入力します。

注 バナータイプはプリンタにあわせて作成します。

プリントサービスクイックセットアップ	
プリントサーバ：	8C-PSERVER
新しいプリンタ：	P1
新しいプリントキュー：	Q1-PS
プリントキューボリューム：	SOFT22-NW4_SYS
バナータイプ：	ポストスクリプト
プリンタタイプ：	パラレル
位置：	手動ロード
割込み：	なし（ポーリングモード）
ポート：	LPT1

3 ［ 変更を保存しますか？］と表示されるまでESC キーを押し［ Yes ］を選択し、Enter キーを押します。

変更を保存しますか？
No
Yes

PCONSOLE を終了します

1 ［ 終了しますか？］が表示されるまでESC キーを押し、［ Yes ］を選択し、Enter キーを押します。

2 ファイルサーバからログアウトします。

F:¥>Logout

ファイルサーバ上で プリントサーバを起動します

1 ファイルサーバコンソールで、プリントサーバを起動します。
もし、プリントサーバが起動している場合は、プリントサーバを利用しているユーザがいないことを確認の上、プリントサーバを再起動します。

: LOAD PSERVER

2 [プリントサーバ名の入力]画面で、Enter キーを押し、[カレントコンテキスト内容] リストから作成した「 プリントサーバ名 」(94ページ) を選択し、Enter キーを押します。
ここではカレントコンテキスト「 SOFT22.ENG7 」から「 8C-PSERVER 」を選択します。

カレントコンテキスト
SOFT22.ENG7

カレントコンテキスト内容
.
..
8C-PSERVER

3 プリントサーバが起動します。
[利用可能な項目] の [プリンタステータス] を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
ﾌﾟﾘﾝﾀｽﾃｰﾀｽ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報

4 [プリンタリスト] から、作成した「 プリンタ名 」(94 ページ) を選択し、Enter キーを押します。
ここでは「 P1.SOFT22.ENG7 」を選択します。

ﾌﾟﾘﾝﾀﾘｽﾄ
P1.SOFT22.ENG7　0

プリンタの状況が表示されます。
ここでは、まだ [カレントステータス] は [プリンタ未接続] です。

ﾌﾟﾘﾝﾀ: P1.SOFT22.ENG7
ﾀｲﾌﾟ: 手動ﾛｰﾄﾞ(ﾘﾓｰﾄ), LPT1

ｶﾚﾝﾄｽﾃｰﾀｽ: ﾌﾟﾘﾝﾀ未接続
.
.

イーサネットボードを設定します

Standard Setup Utility（Windows）を使った設定を説明します。
Setup Utility（Macintosh）、TELNETなどでも設定できます。以下の説明を参考の上、お使いのネットワーク環境にあったユーティリティをご利用ください。

注
- NetWare のファイルサーバ及びプリントサーバが正常に起動している状態で、ユーティリティを使用してください。
- プリンタの電源は、ファイルサーバ及びプリントサーバが正常に起動している状態で ON にしてください。また、プリンタの電源が OFF の場合はイーサネットボードの設定が行えません。

Standard Setup Utilityが起動した状態から説明します。ユーティリティのセットアップ方法は「第 8 章　イーサネットボードの管理」をご覧ください。

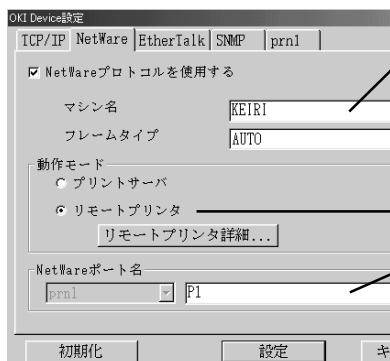
1 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

MEMO イーサネットアドレス（MAC Address）は、イーサネットボードの自己診断テストに表示されています。

注 NetWare ファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は［オプション］メニューの［環境設定］を選択し、［NetWare］タブをクリックします。
［検索するネットワークを指定する］を選択し、イーサネットボードが存在する NetWare ネットワークアドレスを入力し、［登録］をクリックします。メイン画面で［ファイル］メニューの［OKI Device の検索］をクリックすれば、指定した NetWareネットワークアドレス内だけが検索されます。

2 ［ 設定 ］ メニューの ［ OKI Device の設定 ］ を選びます。

3 ［ NetWare ］ タブをクリックします。

4 NetWare 設定画面で、次の項目を入力します。

任意の「 マシン名 」をつけます。ユーティリティの一覧表示の際のマシン名に使います。

［ リモートプリンタ ］ を選択します。

「 プリンタ名 」を入力します。
ここでは「 P1 」と入力します。

注 NetWare4.1J では 94 ページ、NetWare3.12J では 101 ページで作成した「プリンタ名」と必ず一致させてください。

5 NetWare 設定画面の［ リモートプリンタ詳細 ... ］をクリックし、次の項目を入力し、［ OK ］をクリックします。

プリンタを管理する「プリントサーバ名」を入力します。ここでは「　8C-PSERVER 」と入力します。

注 NetWare4.1J では 94 ページ、NetWare3.12J では 101 ページで作成した「プリントサーバ名」と必ず一致させてください。

プリンタポートを解放するまでの時間を設定します。通常は10秒（初期設定）でご使用ください。

6 全ての設定が終了したら、NetWare 設定画面で、［ 設定 ］をクリックします。

7 設定に間違いがなければ、［ はい ］をクリックします。
設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

8 設定値を有効にするため、［ はい ］をクリックします。

注 ここで［いいえ］を選択した場合、プリンタの電源を OFF/ON すれば設定値が反映されます。
プリンタによっては、プリンタの電源を OFF/ON する必要があります。

9 プリンタサーバの［ カレントステータス ］が［ プリントジョブ待機中 ］となれば、準備完了です。

［ プリントジョブ待機中 ］にならない場合は、ファイルサーバとイーサネットボードの設定を最初からやり直してください。

<プリントサーバ　ステータス>

プリンタの接続状態を確認する

NetWare 3.12J 環境

NetWare3.12J環境にはプリントサーバモードとリモートプリンタモードがあります。ファイルサーバの設定は同じですが、イーサネットボードの設定が異なります。NetWare3.12J環境を利用するために必要なファイルサーバとイーサネットボードの設定を行います。

・NetWare4.1J プリントサーバモードを NDS ネットワークで利用する場合は 76 ページをご覧ください。
・NetWare4.1Jプリントサーバモードをバインダリネットワークで利用する場合は 82 ページをご覧ください。
・NetWare4.1J リモートプリンタモードを利用する場合は 93 ページをご覧ください。

以下の説明は、NetWare3.12Jを例にしています。OSのバージョンやシステム構成によって、画面表示や選択肢の内容が一部異なる場合があります。
ファイルサーバ「SOFT22-NW312」の環境にイーサネットボードを接続します。

PCONSOLE を起動します

NetWareサーバへログインするためのネットワークドライブ名は F: を例にしています。

1 クライアントマシンからスーパーバイザで、ファイルサーバにログインします。
ここでは、ファイルサーバ名「 SOFT22-NW312 」にログインします。

```
F:¥>LOGIN SOFT22-NW312/supervisor
```

2 PCONSOLE を起動します。

```
F:¥>pconsole
```

［ 利用可能な項目 ］が表示されます。

```
利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報
```

プリントキューを作成します

1 ［ プリントキュー情報 ］を選択し、Enter キーを押します。

```
利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報
```

2 Ins キーを押して、新しく作成するプリントキュー名を入力し、Enter キーを押します。
ここでは「 Q-8C 」と入力します。

```
新ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ名：Q-8C
```

「 Q-8C 」というプリントキューが作成されます。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
Q-8C
```

プリントサーバを作成します

既存のプリントサーバを利用する場合は、以下の設定を行う必要はありません。「プリントサーバが管理するプリンタを作成します」へ進んでください。

1 ［ プリントサーバ情報 ］ を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報

2 Ins キーを押して、新しく作成するプリントサーバ名を入力し、Enter キーを押します。
ここでは「 8C-PSERVER 」と入力します。

新ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名：8C-PSERVER

「 8C-PSERVER 」というプリントサーバが登録されます。

プリントサーバが管理するプリンタを作成します

1 ［ プリントサーバ情報 ］ を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報

2 作成したプリントサーバを選択し、Enter キーを押します。
ここでは「 8C-PSERVER 」を選択します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
8C-PSERVER

3 ［ プリントサーバ構成 ］ を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの変更
ﾌﾙﾈｰﾑ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞID
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞｵﾍﾟﾚｰﾀ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞﾕｰｻﾞ

4 ［ プリンタの構成 ］を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成ﾒﾆｭｰ
使用されているﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ
ﾌﾟﾘﾝﾀ通知ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾀでｻｰﾋﾞｽされているｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀの構成

5 他のプリンタがインストールされていないプリンタ番号を選択し、Enter キーを押します。
ここでは［ インストールされていません　0 ］を選択します。

構成完了ﾌﾟﾘﾝﾀ

ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	0
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	1
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	2
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	3
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	4
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	5

6 ［ 名前 ］の欄に、リモートプリンタの名前を入力します。
ここでは「 ML8C 」と入力します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ　0　の環境設定

名前：ML8C
ﾀｲﾌﾟ：　定義済み

社別識別子：
IRQ：
ﾊﾞｯﾌｧｻｲｽﾞ(Kﾊﾞｲﾄ)：

開始用紙：
ｷｭｰｻｰﾋﾞｽﾓｰﾄﾞ：

ﾎﾞｰﾚｰﾄ：
ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ：
ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ：
ﾊﾟﾘﾃｨ：
X-On/X-Off 使用有無

7 ［ タイプ ］を選択し、Enter キーを押すと、［ プリンタタイプ ］が表示されます。
［ リモートパラレル，LPT1 ］を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾀﾀｲﾌﾟ

ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT1
ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT2
ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT3
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM1
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM2
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM3
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM4
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT1
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT2
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT3

8 Esc キーを押し、［ 変更を保存しますか？］と表示されたら、［ Yes ］を選択し、Enter キーを押します。
プリンタ番号［ 0 ］番に、「 ML8C 」というプリンタが作成されます。

構成完了ﾌﾟﾘﾝﾀ

ML8C	0
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	1
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	2
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	3
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	4
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません	5

プリンタにプリントキューを割り当てます

1 [プリンタでサービスされているキュー] を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成ﾒﾆｭｰ
使用されているﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ
ﾌﾟﾘﾝﾀ通知ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾀでｻｰﾋﾞｽされているｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀの構成

2 [定義済みのプリンタ] から、プリントキューを割り当てるプリンタを選択し、Enter キーを押します。
ここでは「 ML8C 」を選択します。

定義済みのﾌﾟﾘﾝﾀ	
ML8C	0

3 Ins キーを押して、[使用可能キュー] からプリンタに割り当てるプリントキューを選択し、 Enter キーを押します。
ここでは「 Q-8C 」を選択します。

使用可能ｷｭｰ
Q-8C

4 プリントキューの優先順位を入力し、Ente r キーを押します。
ここでは「 1 」を入力します。

使用可能ｷｭｰ
Q-8C

優先順位：1

プリントキューと優先順位が割当てられます。
複数のプリントキューを割り当てる場合は、手順3と4を繰り返します。

ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ	ｷｭｰ	優先順位
SE22	Q-8C	1

Pconsole を終了します

1 ［ 終了しますか? PConsole ］ が表示されるまで Esc キーを押し、［ Yes ］ を選択します。

```
利用可能な項目
終了しますか？ PConsole
No
Yes
```

プリントサーバモードを利用する場合

1 ユーティリティを使って、イーサネットボードの設定を行います。NetWare4.1Jプリントサーバモードのバインダリネットワークの「イーサネットボードを設定します」(89ページ) の手順にしたがって下さい。

リモートプリンタモードを利用する場合

1 ファイルサーバコンソールで、プリントサーバを起動します。
ここではファイルサーバ上で「 8C-PSERVER 」を起動します。

```
:LOAD PSERVER 8C-PSERVER
```

もし、プリントサーバが起動している場合は、プリントサーバを利用しているユーザがいないことを確認の上、プリントサーバを再起動します。

```
:UNLOAD PSERVER
:LOAD PSERVER　8C-PSERVER
```

2 ユーティリティを使って、イーサネットボードの設定を行います。NetWare4.1Jリモートプリンタモードの「イーサネットボードを設定します」(96ページ) の手順にしたがって下さい。

第8章

イーサネットボードの管理

8 イーサネットボードの管理

イーサネットボードの設定をネットワーク上のコンピュータから行うことができます。その手順について説明します。

Web ブラウザを使います

TCP/IP でネットワークに接続している場合、Microsoft Internet Explorer や Netscape Navigator などの Web ブラウザを利用して、イーサネットボードの設定やプリンタのメニュー設定ができます。

次の条件にあう Web ブラウザをご利用ください。
・Microsoft Internet Explorer Ver.3.0 以上
・Netscape Navigator Ver.3.0 以上
なお、Webブラウザの起動方法及び操作については、各Webブラウザのマニュアルをご覧ください。

注

- 上記 Web ブラウザ以外は動作保証されません。
- イーサネットボードはTCP/IPでネットワークに接続されている必要があります。
- 設定を変更するには 「 root 」ユーザ でログインする必要があります。
- Web ブラウザ利用時の「 root 」ユーザ のパスワードは、「イーサネットアドレスの下 6 桁」です。このパスワードは変更できません。

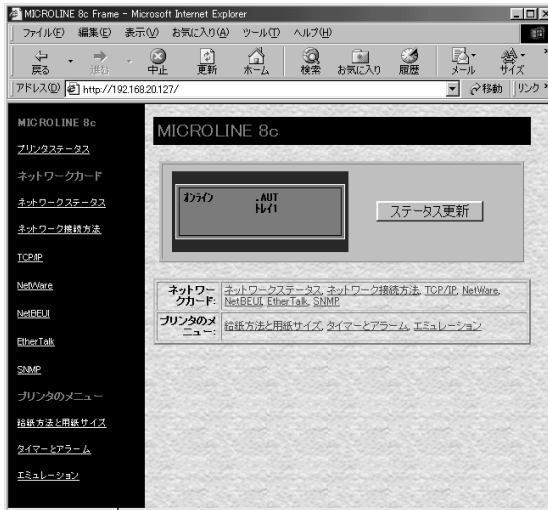
以下の説明は、プリンタはMICROLINE 8c(PS) で、Windows98、Microsoft Internet Explorer Ver.5.0 を例にしています。

1 イーサネットボードに IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。
詳細は「イーサネットボードに IP アドレスを設定します」（14 ページ）をご覧ください。

2 Webブラウザを起動し、[アドレス（Location・場所）] にイーサネットボードの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

＜ IP アドレスが 192.168.20.127 の場合＞
http://192.168.20.127

プリンタステータス（Printer Status）画面が表示されます。

3 左のフレームの中から変更する項目をクリックします。各項目の詳細画面が表示されます。詳細は「設定項目」（109 ページ）をご覧ください。

＜左フレームの項目＞

MICROLINE 8c
プリンタステータス
ネットワークカード
ネットワークステータス
ネットワーク接続方法
TCP/IP
NetWare
NetBEUI
EtherTalk
SNMP
プリンタのメニュー
給紙方法と用紙サイズ
タイマーとアラーム
エミュレーション

注

Microsoft Internet Explorer を使用する場合

・［プリンタステータス］画面の［ステータス更新］ボタンを有効にするためには、Microsoft Internet Explorer5.0J の［ツール］メニューの［インターネットオプション］を選択し、［全般］タブにある［インターネット一時ファイル］の［設定］をクリックし、［保存しているページの新しいバージョンの確認：］を［ページを表示するごとに確認する］に設定します。お使いの Web ブラウザで同様の設定を行ってください。

Netscape Navigator を使用する場合

・［プリンタステータス］画面の［ステータス更新］ボタンを有効にするためには、Netscape Communicator 4.04J の［編集］メニューの［設定］を選択し、［詳細］の［キャッシュ］をクリックし、［キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較］を［セッション毎］に設定します。お使いの Web ブラウザで同様の設定を行ってください。

・設定の変更直後に Web ブラウザの大きさを変更すると、［セキュリティ情報］ダイアログが表示されることがあります。その場合は、ダイアログの中の［次回もこの警告を表示する］のチェックを外してください。お使いの Web ブラウザで同様の設定を行ってください。

4 必要な変更をした後、[OK] をクリックします。

5 [ユーザー名] に「root」、[パスワード] に「イーサネットアドレスの下6桁」を入力し、[OK] をクリックします。

注 イーサネットアドレスが「 00:80:92:01:00:D2」の場合は、
パスワードに「 0100D2 」と入力します。画面上では ****** と表示されます。

MEMO イーサネットアドレス（MAC Address）は、イーサネットボードの自己診断テストに表示されています。

新しい設定値がイーサネットボードに送信されると、次のような画面が表示されます。設定値が適切であるか再度確認してください。

設定項目

各項目の詳細については、「イーサネットボード設定内容」（143 ページ）をご覧ください。

注 プリンタにより使用できる項目が異なります。

ネットワークステータス

現在のネットワークステータスを表示します。

ネットワーク接続方法

プロトコルオプション
各プロトコルの有効／無効を設定します。

フレームオプション
ネットワークのフレームタイプを設定します。

TCP/IP Settings

TCP/IP Settings

DHCP/BOOTP (サーバからIPアドレスを取得)
無効
RARP
無効

IPアドレス : 192.168.20.127
サブネットマスク : 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ : 0.0.0.0

DHCP/BOOTP(サーバからIPアドレスを取得)

DHCP/BOOTP サーバを利用して動的に IP アドレスを取得する場合は［ 有効 ］にします。直接 IP アドレスを入力する場合は［ 無効 ］にします。

RARP

RARP サーバを利用して動的に IP アドレスを取得する場合は［ 有効 ］にします。直接 IP アドレスを入力する場合は［ 無効 ］にします。

IP アドレス , サブネットマスク , デフォルトゲートウェイ

イーサネットボードに割り当てるIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをそれぞれ10進数「 ***.***.***.*** 」形式で入力します。DHCP/BOOTPサーバ、RARP サーバを利用する場合は、設定する必要はありません。

NetWare Settings

NOVELL® NetWare Settings

プリンタ名：“ML0100D2-prn1” (1-31 英数字)

NetWareモード：プリントサーバ

プリンタ名

ファイルサーバまたはプリントサーバへ登録した「プリンタ名」を入力します。どちらのモードでも利用します。必ず登録したプリンタ名と一致させてください。

NetWare モード

イーサネットボードの動作モードをプリントサーバモード（PSERVER）にするか、リモートプリンタモード（RPRINTER）にするか設定します。

プリントサーバモード

プリントサーバモード

プリントサーバ名：“ML0100D2” (1-31 英数字)

パスワード：(1-31 英数字)

ジョブ監視間隔：4 (2-255 秒)

最大ファイルサーバ数：8

バインダリモード：有効

NDS

ツリー名：“” (1-31 英数字)

コンテキスト：“” (1-77 英数字)

プリントサーバモードのファイルサーバ：

No.	ファイルサーバ名 (1-47 英数字)
1	“”
2	“”

プリントサーバ名

（マシン名）

プリントサーバモード時、ファイルサーバへ登録した「プリントサーバ名」を入力します。必ずファイルサーバへ登録したプリントサーバ名と一致させてください。設定値は31文字以内の英数字です。

パスワード

プリントサーバモード時、ファイルサーバにログインするための「パスワード」です。ファイルサーバ上に設定したパスワードと一致させてください。設定値は31文字以内の英数字です。

ジョブ監視間隔

プリントサーバモード時、プリントキューの状態を確認に行く間隔を指定します。値を小さくするとネットワークに負荷をかけます。大きくすると印刷のレスポンスが悪くなります。通常はデフォルトでご利用ください。設定値は 2 ～ 255 秒です。

バインダリモード

プリントサーバモード時、NW4.1Jのバインダリおよび NW3.12Jから使用する場合は、必ず［ 有効 ］にします。NW4.1J の NDSのみで使用する場合は無効にします。

ツリー名

プリントサーバモード時、ファイルサーバの存在する「ツリー名」を入力します。設定値は 31 文字以内の英数字です。

コンテキスト

プリントサーバモード時、プリントサーバを作成した「コンテキスト名」を入力します。設定値は77文字以内の英数字です。

ファイルサーバ名

プリントサーバモード時、プリンタを管理する「ファイルサーバ名」を入力します。最大8台までのファイルサーバを指定できます。設定値は 47 文字以内の英数字です。

リモートプリンタモード

リモートプリンタモード

タイムアウト：10 (4-255 秒)

最大プリントサーバ数：8

No.	プリントサーバ名 (1-47 英数字)
1	""
2	""

タイムアウト
リモートプリンタモード時、最後の印字パケットを受け取ってからジョブ終了としてイーサネットボードのポートを解放するまでの時間です。設定値が短すぎるとパケットが遅れた場合など、印刷が途中で切れたりします。大きすぎると他のプロトコルのジョブに影響を与えます。通常は、デフォルト値でお使いください。設定値は4～255秒です。

プリントサーバ名
リモートプリンタモード時、プリンタを管理する「プリントサーバ名」を入力します。最大8台のプリントサーバを指定できます。設定値は47文字以内の英数字です。

NetBEUI Settings

コンピュータ名：“ML0100D2” (1-15 英数字)

ワークグループ名：“PrintServer” (1-15 英数字)

コンピュータの説明：“EthernetBoard MLETB08” (1-48 英数字)

コンピュータ名
イーサネットボードのコンピュータ名を入力します。設定値は15文字以内の英数字です。

ワークグループ名
ワークグループ名を入力します。設定値は15文字以内の英数字です。

コンピュータの説明
コメントです。設定値は48文字以内の英数字です。

EtherTalk Settings

ゾーン名：“*” (1-32 英数字)

プリンタ名：“ML0100D2” (1-32 英数字)

プリンタタイプ名：“LaserWriter”

ゾーン名
プリンタが属するゾーンを変更する場合に、新しいゾーン名を入力します。設定値は32文字以内の英数字です。

プリンタ名
セレクタで見えるプリンタ名を変更する場合に、新しいプリンタ名を入力します。設定値は32文字以内の英数字です。

SNMP Settings

SNMP Settings

MIB-II カテゴリ

認証コミュニティ名 : ****** (1-15 英数字)
TRAPコミュニティ名 : "public" (1-15 英数字)
TRAP通知IPアドレス : 0.0.0.0
SysContact : "" (1-255 英数字)
SysName : "" (1-255 英数字)
SysLocation : "" (1-255 英数字)
DefaultTTL : 255 (0-255)
Enable AuthenTrap : 無効

プリンタ TRAP カテゴリ

プリンタ TRAP コミュニティ名 : "public" (1-31 英数字)

送信先アドレス
TCP #1 0.0.0.0
TCP #2 0.0.0.0
TCP #3 0.0.0.0
TCP #4 0.0.0.0
TCP #5 0.0.0.0
IPX "0000000 : "0000000000 ('Net:Node' アドレス HEX フォーマット)

TRAP タイプ	TCP #1 TRAP	TCP #2 TRAP	TCP #3 TRAP	TCP #4 TRAP	TCP #5 TRAP	IPX TRAP
TRAP 送信	無効	無効	無効	無効	無効	無効
オンライン	無効	無効	無効	無効	無効	無効
オフライン	無効	無効	無効	無効	無効	無効
用紙なし	無効	無効	無効	無効	無効	無効
用紙ジャム	無効	無効	無効	無効	無効	無効
カバーオープン	無効	無効	無効	無効	無効	無効
プリンタエラー	無効	無効	無効	無効	無効	無効

MIB-II カテゴリ

認証コミュニティ名
15 文字以内の英数字です。

TRAP コミュニティ名
15 文字以内の英数字です。

TRAP 通知 IP アドレス
トラップ通知アドレスを入力します。IP アドレスが 0.0.0.0 の場合はトラップを発行しません。

SysContact
MIB-II の SysContact（管理者名）を設定します。255 文字以内の文字列です。

SysName
MIB-II の SysName（製品名）を設定します。255 文字以内の文字列です。

SysLocation
MIB-II の SysLocation（設置場所）を設定します。255 文字以内の文字列です。

DefaltTTL
IP パケット生存値（TTL 値）を設定します。設定値は 0 〜 255 秒です。

Enable AuthenTrap
認証違反トラップを許可するかどうかを入力します。
許可は「有効」、不許可は「無効」を指定します。

プリンタ TRAP カテゴリ

プリンタ TRAP コミュニティ名
31 文字以内の文字列で設定します。

送信先アドレス

TCP #n
TCP/IP の場合のトラップ通知先アドレスを入力します。アドレスは 5ヶ所まで指定できます。入力値が「0.0.0.0」の場合は Trap を発行しません。

IPX
IPX の場合のトラップ通知先アドレスを HEX で入力します。アドレスの指定は 1 ヶ所です。「 00000000 : 000000000000 」の場合は Trap を発行しません。

TRAP タイプ
TRAP送信, オンライン, オフライン, 用紙なし, 用紙ジャム, カバーオープン, プリンタエラーをそれぞれ使用するかどうか設定します。

プリンタのメニュー設定を変更します。

注 プリンタにより以下の内容が表示されなかったり設定できる項目が異なります。

給紙方法と用紙サイズ

各トレイの用紙サイズ、用紙厚などを設定します。

タイマーとアラーム

タイムアウト印刷や、パワーセーブなどを設定します。

エミュレーション

プリンタのエミュレーションを設定します。

TELNET を使います

ワークステーションに付属のTELNETを使って、イーサネットボードの設定ができます。

注

・イーサネットボードの設定を変更する場合は、ユーザ名「 root 」でログインする必要があります。
・「 root 」ユーザのパスワードの初期値は「なし」です。
・IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

以下の説明は、SunSolaris2.4を例にしています。各コマンドの設定方法などはワークステーションにより異なることがあります。ご使用のワークステーションのマニュアルをご覧ください。

1 ワークステーションにルートでログインします。

注　スーパーユーザの権限を持っていない場合、ネットワーク管理者に設定を依頼してください。

2 ARPコマンドを使って、イーサネットボードに一時的なIPアドレスを設定します。

例：IP アドレスが「192.168.20.127」、
イーサネットアドレスが「00:80:92:01:00:D2」の場合

```
# arp -s 192.168.20.127 00:80:92:01:00:D2 temp
```

MEMO　イーサネットアドレス（MAC Address）はイーサネットボードの自己診断テストに表示されています。イーサネットボードにIPアドレスが既に設定されている場合は、ARP コマンドによる一時的な設定は必要ありません。

3 ping コマンドを使って、イーサネットボードとの接続を確認します。

例：IP アドレスが「192.168.20.127」の場合

```
# ping 192.168.20.127
```

注　応答がない場合は、手順2のIPアドレスの設定、またはネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

4 TELNETでイーサネットボードにログインします。

例：IPアドレス「192.168.20.127」のイーサネットボードにログインした場合の例

```
telnet  192.168.20.127
Trying 192.168.20.127 ...
Connected to 192.168.20.127
Escape character is '^]'.
EthernetBoard MLETB08 Ver 2.0.0 TELNET server.
login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  Message                     Value           (level.1)
---------------------------------------------------
  1 : Setup TCP/IP
  2 : Setup SNMP
  3 : Setup NetWare
  4 : Setup EtherTalk
  5 : Setup NetBEUI
  6 : Setup printer port
  7 : Display status
  8 : Setup printer trap
 97 : Reset to factory set
 98 : Quit setup
 99 : Exit setup
Please select(1-99)?
```

5 変更する項目の番号を入力します。各項目の詳細画面が表示されます。

6 イーサネットボードからログアウトします。
新しい設定を有効にするために、プリンタの電源をOFF/ONします。

注 プリンタの電源をOFF/ONしない場合、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。必ず、プリンタの電源をOFF/ONしてください。

設定項目

各項目の詳細については、「イーサネットボード設定内容」（143 ページ）をご覧ください。

メイン画面

TCP/IP 設定画面

```
Please select(1-99)? _1

No.   Message                 Value
----------------------------------------
 1 : TCP/IP protocol      : ENABLE
 2 : IP address           : 192.168.20.127
 3 : Subnet mask          : 255.255.255.0
 4 : Gateway address      : 192.168.20.254
 5 : RARP protocol        : DISABLE
 6 : DHCP/BOOTP protocol  : DISABLE
 7 : root password        : ""
99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

メイン画面で［1］を選択すると表示されます。TCP/IPを使う場合に設定を行ないます。

SNMP 設定画面

```
Please select(1-99)? _2

No.   Message                  Value
---------------------------------------
 1 : Authentic community    :"******"
 2 : Trap community         :"public"
 3 : Trap address           :0.0.0.0
 4 : SysContact             :""
 5 : SysName                :""
 6 : SysLocation            :""
 7 : DefaultTTL             :255
 8 : EnableAuthenTrap       :2
99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

メイン画面で［2］を選択すると表示されます。SNMPを使う場合に設定を行ないます。

注 EnableAuthenTrapで1はEnable、2はDisableです。

NetWare 設定画面

```
Please select(1-99)? _3

No.   Message                   Value
-------------------------------------
 1 : NetWare protocol       : ENABLE
 2 : Packet type            : AUTO
 3 : NetWare mode           : PSERVER
 4 : Setup PSERVER mode
 5 : Setup RPRINTER mode
99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

メイン画面で［3］を選択すると表示されます。NetWareを使う場合に設定を行ないます。

NetWare プリントサーバモード設定画面

```
Please select(1-99)? _4

No. Message                    Value
-----------------------------------
 1 : FSERVER name 1          : ""
 2 : FSERVER name 2          : ""
 3 : FSERVER name 3          : ""
 4 : FSERVER name 4          : ""
 5 : FSERVER name 5          : ""
 6 : FSERVER name 6          : ""
 7 : FSERVER name 7          : ""
 8 : FSERVER name 8          : ""
 9 : Machine name            : "ML0100D2"
10 : Password                : ""
11 : Job polling interval    : 4
12 : Bindery mode            : ENABLE
13 : NDS tree                : ""
14 : NDS context             : ""
99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

NetWare設定画面で［4］を選択すると表示されます。NetWareのプリントサーバモードを使う場合に設定を行ないます。

NetWare リモートプリンタモード設定画面

```
Please select(1-99)? _5

No. Message                Value

-----------------------------------
 1 : PSERVER name 1          : ""
 2 : PSERVER name 2          : ""
 3 : PSERVER name 3          : ""
 4 : PSERVER name 4          : ""
 5 : PSERVER name 5          : ""
 6 : PSERVER name 6          : ""
 7 : PSERVER name 7          : ""
 8 : PSERVER name 8          : ""
 9 : Job timeout             : 10
99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

NetWare設定画面で［5］を選択すると表示されます。NetWareのリモートプリンタモードを使う場合に設定を行ないます。

EtherTalk 設定画面

```
Please select(1-99)? _4

No.   Message                    Value

-------------------------------------
 1 : EtherTalk protocol    : ENABLE
 2 : Zone Name             : "*"
99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

メイン画面で［4］を選択すると表示されます。
EtherTalkを使う場合に設定を行ないます。

NetBEUI の設定画面

```
Please select(1-99)? _5

No. Message                      Value
---------------------------------------
 1 :NetBEUI protocol     : ENABLE
 2 :Computer name        : "ML0100D2"
 3 :Workgroup name       : "PrintServer"
 4 :Comment              : "EthernetBoard MLETB08"
99 :Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

メイン画面で[5]を選択すると表示されます。NetBEUIを使う場合に設定を行ないます。

プリンタポートの設定画面

```
Please select(1-99)? _6

No. Message                    Value
----------------------------------------
 1 :NetWare port name    : "ML0100D2-prn1"
 2 :EtherTalk port name  : "ML0100D2"
 3 :BOJ string           : ""
 4 :EOJ string           : ""
 5 :BOJ string(euc/sjis) : ""
 6 :EOJ string(euc/sjis) : "\x04"
 7 :Printer type         : PS
 8 :TAB size   (char.)   : 8
 9 :Page width (char.)   : 78
10 :Page length(line)    : 66
11 :lpr/ftp banner       : NO
99 :Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

メイン画面で［6］を選択すると表示されます。プリンタポートの設定を行ないます。

注 5～11番はポストスクリプトプリンタのみの機能です。その他のプリンタでは使用できません。

プリンタ Trap 設定画面

```
Please select(1-99)? _8

No. Message                Value
----------------------------------------
 1 :Prn-Trap community : "public"
 2 :Setup TCP#1 trap
 3 :Setup TCP#2 trap
 4 :Setup TCP#3 trap
 5 :Setup TCP#4 trap
 6 :Setup TCP#5 trap
 7 :Setup IPX trap
99 :Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

メイン画面で［8］を選択すると表示されます。プリンタ Trap の設定を行ないます。

TCP Trap 設定画面

```
Please select(1-99)? _2

No. Message               Value
----------------------------------------
 1 :TCP#1 Trap enable   : DISABLE
 2 :On-line trap        : DISABLE
 3 :Off- line trap      : DISABLE
 4 :Paper Out trap      : DISABLE
 5 :Paper Jam trap      : DISABLE
 6 :Cover Open trap     : DISABLE
 7 :Printer Error trap  : DISABLE
 8 :TCP#1 Trap address  : 0.0.0.0
99 :Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

プリンタ Trap 設定画面で［2］～［6］を選択すると表示されます。TCP/IP の場合のプリンタ Trap の設定を行ないます。

IPX Trap 設定画面

```
Please select(1-99)? _7

No. Message               Value
----------------------------------------
 1 :IPX Trap enable     : DISABLE
 2 :On-line trap        : DISABLE
 3 :Off- line trap      : DISABLE
 4 :Paper Out trap      : DISABLE
 5 :Paper Jam trap      : DISABLE
 6 :Cover Open trap     : DISABLE
 7 :Printer Error trap  : DISABLE
 8 :IPX Trap address    : "000000000000"
 9 :IPX Trap net        : "00000000"
99 :Back to prior menu
Please select(1 - 99)? _
```

プリンタ Trap 設定画面で［7］を選択すると表示されます。IPXの場合のプリンタ Trap の設定を行ないます。

注 IPX Trap address,IPX Trap netはHEXで入力してください。

Standard Setup Utility（Windows）を使います

イーサネットボード付属のStandard Setup Utility（Windows）は、TCP/IP、IPX/SPXのいずれかが動作しているコンピュータからイーサネットボードの設定を行うことができます。

動作環境

Windows98/95 日本語版（以後 Windows98/95）、Windows2000 Advanced Server/Professional 日本語版（以後 Windows2000）、
WindowsNT Server4.0/ Workstation4.0 日本語版（以後 WindowsNT4.0）で、
TCP/IP か IPX/SPX（NetWare）が動作しているコンピュータ

- 上記以外の System では動作保証できません。
- TCP/IP または IPX/SPX でネットワークに接続できないコンピュータでは、本ユーティリティは使えません。
- ユーティリティを使用するコンピュータは、イーサネットボードと同一セグメント上に存在している必要があります。

ユーティリティのセットアップと使い方

以下の説明は、Windows98 を例にしています。
イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」を用意してください。

1 イーサネットボード付属「のネットワークソフトウェアCD-ROM」をコンピュータへセットします。

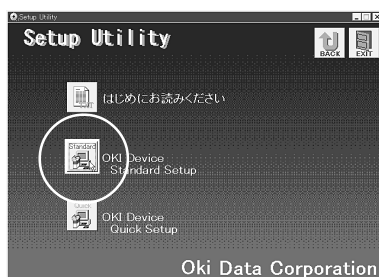
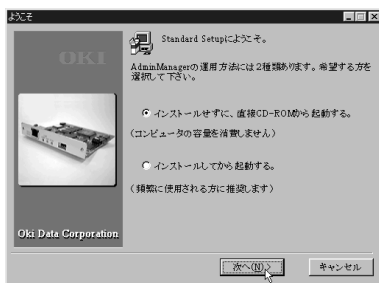
Setup Utilityが自動的に起動します。

注 自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［ Windows ］フォルダの中の［ Autorun.exe ］をダブルクリックしてください。

2 ［ 日本語 ］をクリックします。

注 他言語を選択した場合、Systemに影響を与える場合があります。
ここでは必ず[日本語]を選択してください。

［ Setup Utility ］画面が表示されます。

3 ［ OKI Device Standard Setup ］を クリックします。

4 ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］か、［インストールしてから起動する］のどちらかを選択します。

［ AdminManager ］が起動します。

MEMO ［インストールしてから起動する］を選択した場合、画面の指示にしたがってセットアップを続けてください。
［スタート］-［プログラム］-［ OKI Setup Utility ］-［ AdminManager］を選択します。
削除するには［アンインストール］を選択します。

5 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択し、［ 設定 ］メニューの［ OKI Deviceの設定 ］を選択します。

MEMO イーサネットアドレス（ＭＡＣ Address）は、イーサネットボードの自己診断テストに表示されています。

注 TCP/IP プロトコルの場合、イーサネットボードに IP アドレスを一度も設定していないと一覧に表示されないことがあります。
このような場合は［設定］メニューの［IP アドレス設定］を選択し、IP アドレスをつけてから、再度検索を行ってください。

注 IPX/SPX プロトコルの場合、NetWare ファイルサーバが多数あると一覧に表示されないことがあります。
このような場合は［オプション］メニューの［環境設定］を選択し、［NeWare］タブ内でイーサネットボードが存在する IPX ネットワークアドレスを登録し、再度検索を行ってください。

6 必要な項目を入力し、［ 設定 ］をクリックします。

7 設定に間違いがなければ、［ はい ］をクリックします。
新しい設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

8 新しい設定値を有効にするため、［ はい ］をクリックします。

注 ここで［いいえ］を選択した場合、プリンタの電源を OFF/ON すれば新しい設定値が反映されます。

イーサネットボードによっては、プリンタの電源を OFF/ON する必要があります。

各項目の詳細については、「イーサネットボード設定内容」（143ページ）をご覧ください。

TCP/IP設定画面

NetWare設定画面

マシン名、フレームタイプ、動作モード、NetWareポート名などを入力します。

EtherTalk 設定画面

①EtherTalk を利用するかどうか設定します。

②セレクタで見えるプリンタ名を変更する場合、新しいプリンタ名を入力します。

③プリンタを他の論理ゾーンに変更したい場合、ゾーン名を入力します。

SNMP 設定画面

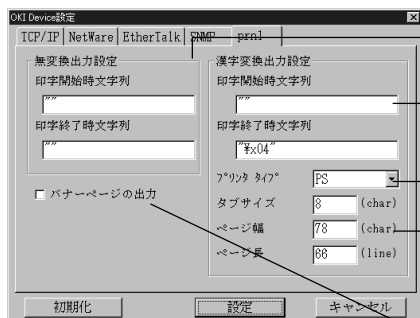
①認証コミュニティ名、トラップコミュニティ名を設定します。

②トラップ通知先のIPアドレスを入力します。トラップを使用しない場合は「0.0.0.0」と入力してください。

③SysContact、SysName、SysLocation を設定します。

④IP パケットの TTL 値です。通常は変更しないでください。

⑤認証エラーの時にトラップを発生させる場合はチェックをつけます。

プリンタポート設定画面

①直接出力ポート（lp）へ印字データを送る前と後にプリンタに送出する文字列です。

②漢字フィルタ経由出力ポート（sjis、euc）へ印字データを送る前と後にプリンタに送出する文字列です。

③PS固定です。

④漢字フィルタ経由出力ポート（sjis、euc）のタブサイズ、ページ幅、ページ長を指定します。

⑤バナーを出力するかどうかを設定します。この項目はTCP/IPプロトコルのみ有効です。

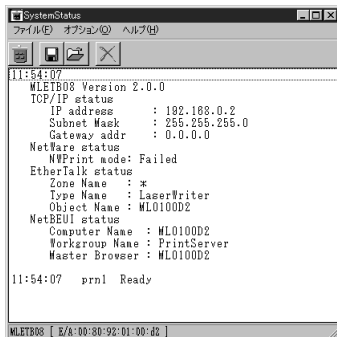
注 ［漢字変換出力設定］は、ポストスクリプトプリンタのみの機能です。その他のプリンタでは使用できません。

プリンタステータス

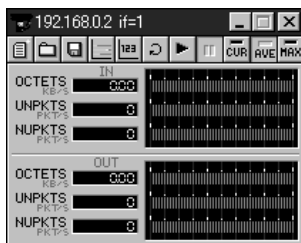
［ステータス］メニューの［プリンタステータス］を選択します。

現在のプリンタの状態を表示します。

システムステータス

［ステータス］メニューの［システムステータス］を選択します。

現在のイーサネットボードの設定内容を表示し、ログファイルとして保存することもできます。

ネットメータ

［ステータス］メニューの［ネットメータ］を選択します。

ネットワークの利用状況がリアルタイムで表示されます。
設定方法など詳細項目については、ネットメータの各画面の「Help」を参考にしてください。
CD-ROMから起動させた場合の「Help」は英文です。

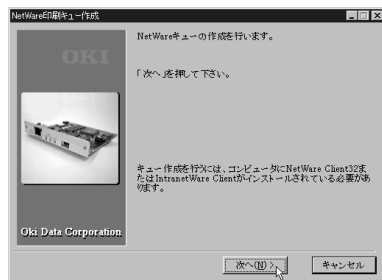
注 ネットメータはフリーソフトウェアです。動作保証されません。

NetWare のキュー作成

NetWare サーバ上にプリントキューを作成することができます。

- Standard Setup Utility を起動するコンピュータに、NetWare Clients32 または IntranetWare Client が追加されていて、NetWare の NDS ネットワークやバインダリネットワークへログインできる必要があります。
- 各サーバには、オブジェクトを作成できる権限を持つユーザでログインする必要があります。
- NetWare4.1Jリモートプリンタのプリントキューは、NDSモードで作成する必要があります。バインダリモードでは作成できません。

1 イーサネットボードを選択してから、［ 設定 ］ メニューの ［ NetWare のキュー作成 ］ を選択します。

2 ［ 次へ ］ をクリックします。

3 ネットワーク環境にあわせて、［ NDSモード ］か［ バインダリモード ］ を選択します。

4 画面の指示に従い、NetWare キューを作成します。

5 設定内容を確認します。
設定内容に間違いがなければ、［ 実行 ］ をクリックします。

NetWareサーバに設定内容が送信されます。

6 ［ 完了 ］をクリックします。

7 引き続き［ OKI Device の設定 ］を選択し、イーサネットボードの設定を行ってください。

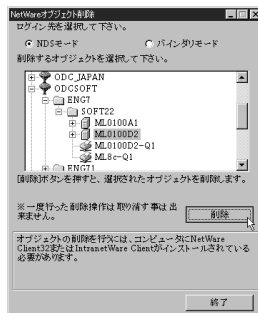
NetWare のオブジェクト削除

NetWareサーバ上に作成しているプリントサーバ、プリントキュー、プリンタを削除することができます。

注
・Standard Setup Utility を起動するコンピュータに、NetWare Client 32 または IntranetWare Client が追加されていて、NetWare の NDS ネットワークやバインダリネットワークへログインできる必要があります。
・各サーバには、オブジェクトの削除ができる権限を持つユーザでログインする必要があります。

1 イーサネットボードを選択してから、［ 設定 ］メニューの［ NetWare の オブジェクト削除 ］を選択します。

2 ［ NDSモード ］か［ バインダリモード ］を選択し、削除するオブジェクトを選択します。
削除してよければ、［ 削除 ］をクリックします。

注 ［削除］は取り消すことができません。十分気をつけてオブジェクトを選んでください。

3 ［ 終了 ］をクリックします。

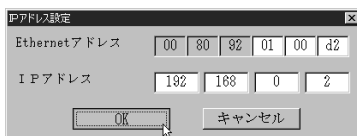
IP アドレスの設定

Standard Setup Utility を起動するコンピュータが TCP/IP プロトコルのみで動作していると、イーサネットボードにIPアドレスを設定していない場合に一覧にイーサネットボードが表示されないことがあります。次の操作を行ってIPアドレスを設定します。

注 設定を行う前に、イーサネットボードのイーサネットアドレスを確認してください。イーサネットアドレス（MAC Address）は、イーサネットボードの自己診断テストに表示されています。

1 ［ 設定 ］メニューの［ IP アドレス設定 ］を選択します。

2 イーサネットボードの「イーサネットアドレス」と「IP アドレス」を入力し、［ OK ］をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

3 IP アドレスを有効にするため、［ はい ］をクリックします。

注 ここで［いいえ］を選択した場合でも、プリンタの電源を OFF/ON すれば IP アドレスが反映されます。

イーサネットボードによっては、プリンタの電源をOFF/ONする必要があります。

環境設定

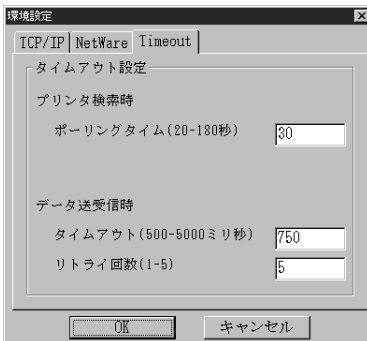
［ オプション ］ メニューの ［ 環境設定 ］ を選択します。

TCP/IP
TCP/IP でイーサネットボードを検索するときのブロードキャストアドレスを設定します。

［TCP/IP プロトコルを使用する］のチェックを外すと、TCP/IP では検索しません。

NetWare
NetWareでイーサネットボードを検索するときのNetWare ネットワーク番号を設定します。
NetWareファイルサーバが多数ある場合は、イーサネットボードが存在するネットワーク番号を設定してください。

［NetWare プロトコルを使用する］のチェックを外すと、NetWare では検索しません。

［検索するネットワークを自動検出する］を選択した場合は、検索時に取得できたネットワークだけを検索します。

Timeout
ポーリングタイム
イーサネットボードからの応答待ち時間を秒単位で設定します。

タイムアウト
AdminManagerとイーサネットボードの間のタイムアウト時間を秒単位で設定します。

リトライ回数
AdminManagerとイーサネットボードの間のリトライ回数を設定します。

Quick Setup Utility（Windows）を使います

イーサネットボード付属のQuick Setup Utility（Windows）は、TCP/IP、IPX/SPXのいずれかが動作しているコンピュータからイーサネットボードの簡易設定を行うことができます。

動作環境

Windows98/95日本語版（以後Windows98/95）、Windows2000 Advanced Server/Professional日本語版（以後Windows2000）、
WindowsNT Server4.0/ Workstation4.0日本語版（以後WindowsNT4.0）で、
TCP/IPかIPX/SPX（NetWare）が動作しているコンピュータ

・上記以外のSystemでは動作保証できません。
・TCP/IPまたはIPX/SPXでネットワークに接続できないコンピュータでは、本ユーティリティは使えません。
・ユーティリティを使用するコンピュータは、イーサネットボードと同一セグメント上に存在している必要があります。

ユーティリティのセットアップと使い方

以下の説明は、Windows98を例にしています。
イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」を用意してください。

1 イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をコンピュータへセットします。

Setup Utilityが自動的に起動します。

注 自動的に起動しない場合は、CD-ROMの［ Windows ］フォルダの中の［ Autorun.exe ］をダブルクリックしてください。

2 ［ 日本語 ］をクリックします。

注 他言語を選択した場合、Systemに影響を与える場合があります。
ここでは必ず［日本語］を選択してください。

Setup Utility 画面が表示されます。

3 ［ OKI Device Quick Setup ］をクリックします。

4 画面の指示に従い、イーサネットボードの設定を進めます。

注 NetWareのキュー作成を行うためには、NetWare Client32 または IntranetWare Client がコンピュータに追加されている必要があります。

5 設定内容を確認します。
設定内容に間違いがなければ、
［ 実行 ］をクリックします。

設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

6 設定値を有効にするために、
［ 完了 ］をクリックします。

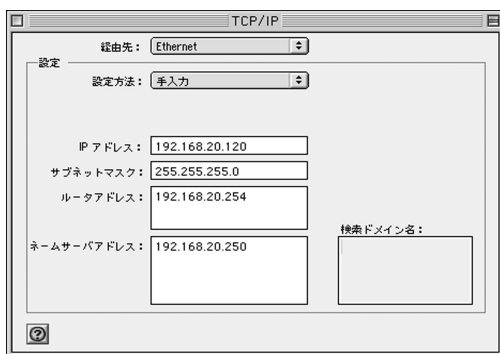
注 イーサネットボードによっては、プリンタの電源を OFF/ON する必要があります。

Setup Utility (Macintosh ）を使います

イーサネットボード付属のSetup Utility（ Macintosh ）は、TCP/IP が動作している Macintosh から、イーサネットボードの設定を行うことができます。

動作環境

漢字 Talk7.1.2 以上で、TCP/IP が動作している Macintosh

・漢字 Talk7.1.2 未満の Macintosh では動作しません。
・Macintosh にも TCP/IP の設定が必要です。コントロールパネルの［ TCP/IP ］を選択し、各アドレスを設定します。OS のバージョンによっては、コントロールパネルに［ TCP/IP ］ではなく、［ MacTCP ］があります。詳細は、Macintosh のマニュアルをご覧ください。

ユーティリティのセットアップと使い方

イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」を用意してください。
以下の説明は、MacOS9.0を例にしています。

1 イーサネットボード付属の「ネットワークソフトウェアCD-ROM」をMacintoshへセットし、［ Mac ］-［ JAPANESE ］フォルダの中の［ Setup Utility ］をダブルクリックします。

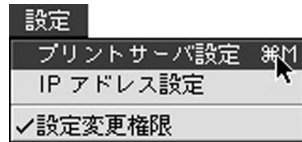
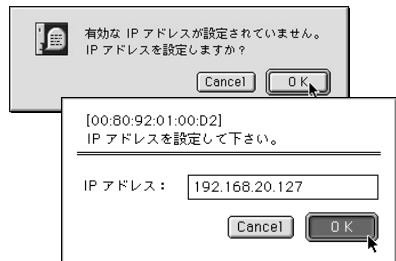
MEMO Macintoshのハードディスクへコピーしても使用できます。

2 ［ OK ］をクリックします。

イーサネットボードの検索がはじまり、一覧が表示されます。

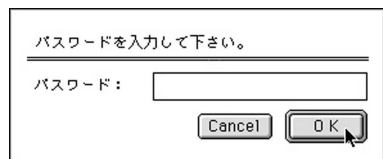
3 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

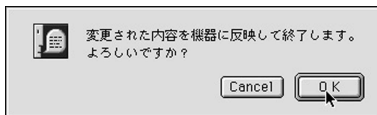
MEMO イーサネットアドレス（MAC Address）はイーサネットボードの自己診断テストに表示されています。

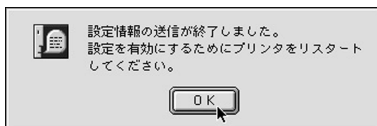
4 ［ 設定 ］メニューの［ プリントサーバ設定 ］を選択します。

注 イーサネットボードにIPアドレスを一度も設定していないと、次の画面が表示されます。一時的なIPアドレスをつけてから、プリントサーバの設定を行います。
ここで、設定するIPアドレスは、プリンタの電源を切ると消えます。

5 ［ ROOT ］のパスワードを入力し、［ OK ］をクリックします。
初期値は「なし」です。

パスワードを入力して下さい。

パスワード：

Cancel　O K

6 必要な項目を入力し、[設定終了] をクリックします。

7 設定に間違いがなければ [OK] をクリックします。
新しい設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

8 新しい設定値を有効にするため、[OK] をクリックし、プリンタの電源を OFF/ON します。

各項目の詳細については、「イーサネットボード設定内容」（143 ページ）をご覧ください。

TCP/IP 設定画面

①TCP/IPを利用するかどうか設定します。

②IP アドレスを「***.***.***.***」の形式で設定します。

③RARP や DHCP/BOOTP から IP アドレスを取得する場合は、チェックします。DHCPからIPアドレスを取得する場合は「BOOTPによるアドレス取得」にチェックします。

④サブネットマスクを「***.***.***.***」の形式で入力します。ルータやゲートウェイを使用しない場合は「0.0.0.0」と指定してください。

⑤ゲートウェイを「***.***.***.***」の形式で入力します。ゲートウェイを使用しない場合は「0.0.0.0」と指定してください。

⑥ROOT のパスワードを入力します。

SNMP 設定画面

①認証コミュニティ名、トラップコミュニティ名を設定します。

②トラップ通知先のＩＰ アドレスを「***.***.***.***」の形式で設定します。トラップを使用しない場合は「0.0.0.0」と入力してください。

③SysContact、SysName、SysLocationを設定します。

④IPパケットのTTL値です。通常は変更しないでください。

⑤認証エラーの時にトラップを発生させる場合はチェックをつけます。

NetWare 設定画面

MLETB08(192.168.20.127 ML0100D2)
NetWare 設定
NetWare プロトコルを使用する
マシン名 ML0100D2
パケット形式 AUTO
動作モード プリントサーバ　プリントサーバ詳細...
NDS設定...
NetWare ポート名 prn1 ML0100D2-prn1
TCP/IP 設定
SNMP 設定
NetWare 設定
EtherTalk 設定
初期化　変更取消　設定中断　設定終了

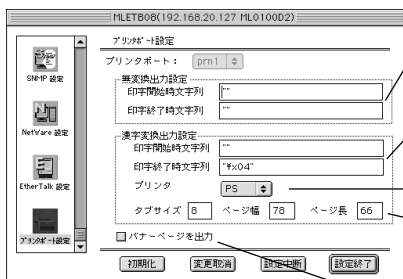
マシン名、パケット形式、動作モード、NetWare ポート名などを入力します。

EtherTalk 設定画面

①EtherTalkを利用するかどうか設定します。

②プリンタを他の論理ゾーンに変更したい場合、ゾーン名を入力します。

③セレクタで見えるプリンタ名を変更する場合、新しいプリンタ名を入力します。

プリンタポート設定画面

①直接出力ポート（lp）へ印字データを送る前と後にプリンタに送出する文字列です。

②漢字フィルタ経由出力ポート（sjis、euc）へ印字データを送る前と後にプリンタに送出する文字列です。

③PS固定です。

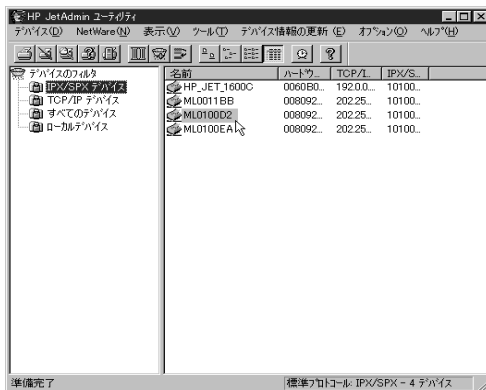
④漢字フィルタ経由出力ポート（sjis、euc）のタブサイズ、ページ幅、ページ長を指定します。

⑤バナーを出力するかどうかを設定します。この項目はTCP/IPプロトコルのみ有効です。

注 ［漢字変換出力設定］は、ポストスクリプトプリンタのみの機能です。その他のプリンタでは使用できません。

JetAdmin を使います

JetAdmin ユーティリティの一部の機能に対応しています。

＜ JetAdmin バージョン 3.3　起動画面＞

JetAdmin に対応している機能

●メイン画面の一覧表示では、[名前] にプリンタ名を、[ハードウェアアドレス] にイーサネットアドレスを、[TCP/IP アドレス] に IP アドレスを表示します。

●[デバイス] メニューの [新規] では、NetWare サーバへログインできる環境であれば、新規デバイスとしてイーサネットボードを取得できます。

●[デバイス] メニューの [編集] では次の設定が可能です。

[基本情報] では [プリントサーバ名] が設定できます。

[NetWare] の [オペレーティングモード] では [キューサーバモード] を選択できます。[リモートプリンタモード] では 30 文字以内のプリントサーバ名であれば選択できます。

[NetWare] の [キュー] では、ファイルサーバ名が 30 文字以内の場合に限り、バインダリモードのキュー登録ができます。

[TCP/IP] では [DHCP サーバから TCP/IP 設定を自動的に取得する] と [TCP/IP 設定を手動で設定する] が設定できます。

[オプション] の [AppleTalk] では [AppleTalk 名] が変更できます。

●[デバイス] メニューの [プロパティ] では次の設定が可能です。

[デバイス] タブではプリンタのステータスを表示します。

[JetDirect] タブ

[JetDirect カードのリセット] では [再初期化] [カードを出荷時の設定にリセット] が利用できます。

[フレームタイプ] では、[AUTO]、[Ethernet802.3]、[Ethernet II]、[Ethernet802.2]、[EthernetSNAP] のいずれかを選択できます。

[プロトコルスタック] では、[Windows/NT、HPUX、SunOS] と [EtherTalk] が選択できます。

[間隔] では、[ジョブポーリングレート] が設定できます。

SNMPを使います

イーサネットボードは、SNMPエージェントを実装しています。SNMPマネージャでプリンタを管理することができます。
MIB-II及び沖データプライベートMIBに対応しています。沖データプライベートMIBについては、イーサネットボード付属の「プリンタソフトウェアCD-ROM」の[Mib]フォルダの中の「 Readme-j.txt 」を参考にお使いのプリンタにあったファイルをご利用ください。

SNMPの各設定項目には以下のデフォルト値が設定されています。

項目	値
認証コミュニティ名	public
トラップコミュニティ名	public
トラップIPアドレス	0.0.0.0
SysContact	なし
SysName	なし
SysLocation	なし
TTL値（IPパケット生存値）	255
認証エラートラップの許可	2（不許可）

プリンタTrapの各設定項目には以下のデフォルト値が設定されています。

項目	値
TCP #n trap enable	DISABLE(使用しない)
Online trap	DISABLE(使用しない)
Offline trap	DISABLE(使用しない)
Paper Out trap	DISABLE(使用しない)
Paper Jam trap	DISABLE(使用しない)
Cover Open trap	DISABLE(使用しない)
Printer Error trap	DISABLE(使用しない)
TCP #n trap Trap address	0.0.0.0
IPX Trap address	00000000:000000000000

注
・プリンタTrapアドレスは、TCP/IPで5ヶ所、IPXで1ケ所指定できます。
・プリンタTrapの設定は、TELNETとWebブラウザから行うことができます。

イーサネットボード設定内容

イーサネットボードに設定できる項目および設定値を説明します。

注 プリンタによって使用できる機能が異なります。

網かけ部はイーサネットボードの初期値です

項目	機能	設定値
TCP/IP		
TCP/IP protocol TCP/IPプロトコル	イーサネットボードでTCP/IPプロトコルを使用するかどうか設定します。	ENABLE ：使用する DISABLE：使用しない
IP address IPアドレス	イーサネットボードの IPアドレスを設定します。設定値は、10進数「***.***.***.***」形式で入力します。ただし、RARPやDHCP/BOOTPを利用する場合は、動的にIPアドレスが設定されますので、IPアドレスを設定する必要はありません。	デフォルト 0.0.0.0
Subnet mask サブネットマスク	イーサネットボードのサブネットマスクを設定します。設定値は、10進数「***.***.***.***」形式で入力します。	デフォルト 0.0.0.0
Gateway address ゲートウェイアドレス	イーサネットボードのゲートウェイアドレスを設定します。設定値は、10進数「***.***.***.***」形式で入力します。	デフォルト 0.0.0.0
RARP protocol RARP要求発行	起動時に、RARPの要求（動的なIPアドレスの取得）を行うかどうか設定します。	ENABLE ：使用する DISABLE：使用しない
DHCP/BOOTP protocol DHCP/BOOTP要求発行	起動時に、DHCPまたはBOOTPの要求（動的なIPアドレスの取得）を行うかどうか設定します。IPアドレスを設定した場合は、自動的に「DISABLE」に変わります。	ENABLE ：使用する DISABLE：使用しない
ROOT password ROOTパスワード	TELNETやユーティリティなどでイーサネットボードの設定を変更できるユーザ（root ユーザ）のパスワードを設定できます。7桁の英数字です。	デフォルト なし
SNMP		
Authentic community 認証コミュニティ	認証コミュニティ名を入力します。15文字以内の英数字です。設定内容は「********」で表示されます。	デフォルト public
Trap community トラップコミュニティ	トラップコミュニティ名を入力します。15文字以内の英数字です。	デフォルト public
Trap address トラップアドレス	トラップ通知アドレスを入力します。IPアドレスが、0.0.0.0の場合は無効です。	デフォルト 0.0.0.0
SysContact	MIB-IIのSysContactを設定します。255文字以内の文字列です。	デフォルト なし
SysName	MIB-IIのSysNameを設定します。255文字以内の文字列です。	デフォルト なし

項目	機能	設定値
SysLocation	MIB-IIのSysLocation（設置場所）を設定します。255文字以内の文字列です。	デフォルト なし
DefaultTTL	IPパケット生存値（TTL値）を設定します。通常はデフォルト値でお使いください。設定値は、0～255秒です。	デフォルト 255秒
EnableAuthenTrap	認証エラートラップを許可するかどうか入力します。	1：許可 2：不許可
NetWare		
NetWare protocal NetWareプロトコル	NetWare（IPX/SPXプロトコル）を使用するかどうか設定します。	ENABLE ：使用する DISABLE：使用しない
Packet type パケットタイプ	NetWareで使用するパケットの優先フレームタイプを指定します。初期設定では自動でパケットタイプを切り替えます。接続できない場合は、サーバと同じフレームタイプを指定して下さい。	AUTO：自動 ETHER-II： ETHERNET-II 802.2 ：IEEE802.2 802.3 ：IEEE802.3 SNAP：SNAP
NetWare mode NetWare動作モード	NetWare使用時にイーサネットボードの動作モードを、プリントサーバモードかリモートプリンタモードか設定します。NetWareサーバ上の設定と一致させる必要があります。	RPRINTER： ﾘﾓｰﾄﾌﾟﾘﾝﾀﾓｰﾄﾞ PSERVER ： ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞﾓｰﾄﾞ
プリントサーバ		
FSERVER name1-8 ファイルサーバ名	プリントサーバモード時、プリンタを管理するファイルサーバの名前を入力します。最大8台のファイルサーバを指定できます。設定値は、47文字以内の英数字です。	デフォルト 全てなし
Machine name マシン名	プリントサーバモード時、ファイルサーバに設定した「プリントサーバ名」となります。必ず、ファイルサーバに設定した「プリントサーバ名」と一致させてください。 リモートプリンタモード時は、NetWare内での利用はありません。どちらのモードでも、ユーティリティで表示されるマシン名になります。設定値は、31文字以内の英数字です。	デフォルト 「ML」+「MACアドレス下6桁」
Password パスワード	プリントサーバモード時、ファイルサーバにログインするためのパスワードです。ファイルサーバ上に設定したパスワードと一致させてください。設定値は、31文字以内の英数字です。	デフォルト ヌル （パスワードなし）
Job polling interval ジョブポーリング間隔	プリントサーバモード時、Jobの状態を調べる間隔を指定します。設定値が小さすぎるとネットワークに負荷をかけます。大きすぎると印刷のレスポンスが悪くなります。通常はデフォルト値でお使いください。設定値は、2～255秒です。	デフォルト 4秒

項目	機能	設定値
Bindery mode バインダリモード	プリントサーバモード時、バインダリモードを使用するかどうか設定します。NW4.1JバインダリモードおよびNW3.12Jで接続する場合は、必ずENABLEにします。NW4.1JのNDSモードのみで管理する場合は、DISABLEに設定します。	ENABLE ：使用する DISABLE：使用しない
NDS tree NDSツリー	プリントサーバモード時、NDSのツリー名を入力します。NetWareのプリントサーバを登録したファイルサーバが属するNDSツリー名です。設定値は、31文字以内の英数字です。	デフォルト なし
NDS context NDSコンテキスト	プリントサーバモード時、NDSのコンテキスト名を入力します。NetWareのプリントサーバを作成したコンテキスト名です。設定値は、77文字以内の英数字です。	デフォルト なし
リモートプリンタ		
PSERVER name1-8 プリントサーバ名	リモートプリンタモード時、接続するプリントサーバの名前を入力します。最大8台のプリントサーバを指定できます。設定値は、47文字以内の英数字です。	デフォルト 全てなし
JOB timeout JOBタイムアウト時間	リモートプリンタモード時、最後の印字パケットを受け取ってからジョブ終了としてイーサネットボードのポートを解放するまでの時間です。設定値が小さすぎると、パケットが遅れた場合など、印刷が途中で切れたりします。大きすぎると、他のプロトコルのジョブに影響を与えます。通常は、デフォルト値でお使いください。設定値は、4～255秒です。	デフォルト 10秒
EtherTalk		
EtherTalk protocol EtherTalk プロトコル	EtherTalkプロトコルを使用するかどうか設定します。	ENABLE ：使用する DISABLE：使用しない
Zone name ゾーン名	EtherTalkプロトコル上で、イーサネットボードが属するEtherTalkゾーン名を入力します。32文字以内の英数字です。	デフォルト ” ”（なし）
NetBEUI		
NetBEUIprotocol NetBEUIプロトコル	NetBEUIプロトコルを使用するかどうか設定します。	ENABLE ：使用する DISABLE：使用しない
Computer name コンピュータ名	イーサネットボードのコンピュータ名を入力します。設定値は15文字以内の英数字です。	デフォルト 「ML」+「MACアドレス下6桁」
Workgroup name ワークグループ	ワークグループ名を入力します。設定値は15文字以内の英数字です。	デフォルト PrintServer
Comment コメント	コメントです。設定値は48文字以内の英数字です。	デフォルト なし

項目	機能	設定値
プリンタポート		
NetWare port name NetWareポート名	NetWare4.1Jの場合、PCONSOLEの「新しいﾌﾟﾘﾝﾀ」または「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報」の「ﾌﾟﾘﾝﾀ」の名前です NetWare3.12Jの場合、PCONSOLEの「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報」の「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成ﾒﾆｭｰ」の「ﾌﾟﾘﾝﾀの構成」の名前です。必ず登録したプリンタ名と一致させてください。設定値は、31文字以内の英数字です。	デフォルト 「ML」＋「MACアドレス下6桁」＋「－prn1」
EtherTalk port name EtherTalkポート名	EtherTalkプロトコルで使用されるプリンタの名前です。EtherTalkのみで使います。 設定値は、32文字の英数字です。	デフォルト 「ML」＋「MACアドレス下6桁」
BOJ string BOJ 文字列	直接出力ポート（lpポート）に出力する前に、プリンタに送出する文字列を指定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合など、文字列を指定します。設定値は、31文字以内の文字列です。また、文字列以外に次の特殊コードも指定できます。 ¥b　ASCII バックスペース、コード0x08 ¥t　ASCII タブ、コード0x09 ¥n　ASCII　改行、コード0x0a ¥v　ASCII 垂直タブ、コード0x0b ¥f　ASCII 改頁、コード0x0c ¥r　ASCII 復帰、コード0x0d ¥xnn　nn で表現される16進コード ¥"　"　コード0x22 ¥¥　¥　コード0x5c	デフォルト ""（なし）
EOJ string EOJ 文字列	直接出力ポート（lpポート）に出力した後に、プリンタに送出する文字列を指定します。印字後に制御コード等を送信する必要がある場合など、文字列を指定します。設定値は、31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは、BOJ string と同じです。	デフォルト ""（なし）
BOJ string(KANJI) BOJ 文字列(漢字)	漢字フィルタ経由出力ポート（euc,sjisポート）に出力する前に、プリンタに送出する文字列を指定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合など、文字列を指定します。設定値は、31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは、BOJ string と同じです。	デフォルト ""（なし）
EOJ string(KANJI) EOJ文字列(漢字)	漢字フィルタ経由出力ポート（euc,sjisポート）に出力する後に、プリンタに送出する文字列を指定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合など、文字列を指定します。設定値は、31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは、BOJ string と同じです。	デフォルト ¥x04

項目	機能	設定値
Printer type プリンタ選択	漢字フィルタのプリンタTypeを設定します。	PS（PostScript）固定
TAB size タブサイズ	漢字フィルタ経由で出力する時のタブコード(0x09)を半角スペース(0x20)に変換する文字幅を指定します。この文字幅を0にすると、タブ変換処理は行われません。設定値は、0～16です。	デフォルト 8
Page width 用紙幅（1行の文字数）	漢字フィルタ経由で出力する時のページ幅を設定します。 設定値は、0～255です。	デフォルト 78
Page length 用紙長（1頁の行数）	漢字フィルタ経由で出力する時のページ長を設定します。 設定値は、0～255です。	デフォルト 66
lpr/ftp banner バナー出力	LPRやFTPで印字する場合にバナーページをつけるかどうか指定します。この設定は、TCP/IPプロトコルのみに有効です。	YES：ﾊﾞﾅｰﾍﾟｰｼﾞつける NO ：ﾊﾞﾅｰﾍﾟｰｼﾞつけない
プリンタTrap		
Prn-Trap community プリンタトラップコミュニティ	プリンタのトラップのコミュニティ名を入力します。設定値は，31文字以内の英数字です。	デフォルト public
TCP #n Trap enable	TCP #nでプリンタTrapを使用するかどうか設定します。	ENABLE ：使用する DISABLE：使用しない
On-line trap	オンラインTrapを使用するかどうか設定します。	ENABLE ：使用する DISABLE：使用しない
Off-line trap	オフラインTrapを使用するかどうか設定します。	ENABLE ：使用する DISABLE：使用しない
Paper Out trap	ペーパーアウトTrapを使用するかどうか設定します。	ENABLE ：使用する DISABLE：使用しない
Paper Jam trap	ペーパージャムTrapを使用するかどうか設定します。	ENABLE ：使用する DISABLE：使用しない
Cover Open trap	カバーオープンTrapを使用するかどうか設定します。	ENABLE ：使用する DISABLE：使用しない
Printer Error trap	プリンタエラーTrapを使用するかどうか設定します。	ENABLE ：使用する DISABLE：使用しない
TCP #n Trap address	TCP/IPの場合のTrap通知アドレスを入力します。設定値は、10進数「*** .*** .*** .***」形式で入力します。IPアドレスが0.0.0.0の場合はトラップを発行しません。TCP/IPの場合、アドレスは5ヶ所まで指定できます。	デフォルト 0.0.0.0
IPX Trap address	IPXの場合のTrap通知アドレスを入力します。設定値は、「ネットワークアドレス（8桁）＋ノードアドレス（12桁）」形式で入力します。入力値が00000000 :000000000000の場合はトラップを発行しません。IPXの場合、アドレスの指定は1ヶ所のみです。	デフォルト 00000000: 000000000000

項目	機能	設定
ステータス		対策
Ready	オンライン状態です。 印刷データを受信できる状態です。	
Offline	オフライン状態です。	
Printer Error	プリンタエラーです。 ただし、「warming up」は、プリンタが印刷するために準備をしているので、問題ではありません。しばらくお待ちください。	プリンタの表示パネルに表示されているメッセージを確認してください。
Printing	データを印刷中です。	

第 9 章

トラブルシューティング

9 トラブルシューティング

イーサネットボードを利用している場合に起こり得る代表的なトラブルとその解決のヒントを記載しています。

自己診断テストと設定内容のトラブル

印刷されない

● プリンタのエミュレーションを「PCL」または「自動」にしてください。

自己診断テストにＮＧが印刷されている

ROM Check、RAMCheck がＮＧの場合

● イーサネットボードの取り付けを確認の上、プリンタの電源をOFF／ONしてください。

EEPROMCheck がＮＧの場合

● イーサネットボードの取り付けを確認の上、プリンタの電源をOFF／ONしてください。
● イーサネットボードを初期化してください。

NIC Check がＮＧの場合

● イーサネットボードの取り付けを確認の上、プリンタの電源をOFF／ONしてください。
● ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。可能であれば、別のセグメントのネットワークに接続してみてください。

接続しているネットワーク形式と違うネットワーク形式が印刷される

● ネットワークケーブルの取り付けを確認の上、プリンタの電源をOFF／ONしてください。
● ネットワークケーブルを取り替えて、プリンタの電源を OFF ／ ON してください。

TCP/IP 利用時のトラブル

イーサネットボードが認識されない

- ●プリンタの電源をOFF/ONしてください。
- ● pingに応答するか確認してください。
- ● ネットワークケーブルが、正しく接続されているか確認してください。場合によっては、ケーブルを取り替えてみてください。
- ● イーサネットボードの自己診断テストを行って、「IP Address」「Subnet Mask」「Gateway Address」の値が正しいか確認してください。正しくない場合は、それぞれの値を再設定してください。
- ● イーサネットボードの［TCP/IPプロトコル］が、［DISABLE］になっている可能性があります。［DISABLE］の場合は、イーサネットボード付属のユーティリティで［ENABLE］にしてください。
- ● イーサネットボードを初期化した後、IPアドレスを再設定してください。
- ● DHCP、BOOTP、RARPを使用しないときは、イーサネットボードの［DHCP/BOOTP］または［RARP］を［DISABLE］にしてください。

lprやftpで印字できない

- ● プリンタの電源をOFF／ONしてください。
- ● pingに応答するか確認してください。
- ● ネットワークケーブルが、正しく接続されているか確認してください。場合によっては、ケーブルを取り替えてみてください。
- ● ワークステーションでイーサネットボードのホスト名やIPアドレスが設定されているか確認してください。
- ● ワークステーションでイーサネットボードのプリンタポート名が設定されているか確認してください。
  ポート名は「lp、euc、sjis」の3つです。「euc、sjis」はポストスクリプトプリンタ専用です。また、プリンタドライバを経由する場合は「lp」にしてください。

バナーページのユーザ名は？

- ● LPDで印刷を行った場合、User nameは「unknown」、File nameは「スプールファイル名」が印刷されます。
- ● FTPで印刷を行った場合、User nameは「FTPログイン時に入力したユーザ名」、File nameは「転送したファイル名」が印刷されます。putコマンドで、印字先ディレクトリ名を指定した場合は、File nameは印刷されません。Printerは「論理ディレクトリ名」が印刷されます。

NetWare利用時のトラブル

イーサネットボードが認識されない

- プリンタの電源をOFF／ONしてください。
- ネットワークケーブルが、正しく接続されているか確認してください。場合によっては、ケーブルを取り替えてみてください。
- イーサネットボード付属のユーティリティを利用している場合、環境設定のNetWareネットワーク番号が有効な値か確認してください。正しい値を入力していないと認識できません。また、大規模なネットワーク環境の場合も、イーサネットボードが存在するNetWareネットワーク番号を入力してください。
- イーサネットボードの［NetWareプロトコル］が、［DISABLE］になっている可能性があります。イーサネットボード付属のユーティリティで［ENABLE］にしてください。
- イーサネットボードを初期化した後、NetWareポート名などを再設定してください。

ユーティリティでは認識されるがNetWareサーバにつながらない

- NetWareサーバを先に立ち上げてから、イーサネットボードの設定を行なってください。
- NetWareサーバでNSAPパケットに対する応答を無効に設定していないか確認してください。

＜リモートプリンタモードの場合＞

- ファイルサーバ上にイーサネットボードを登録したプリントサーバが起動しているか確認してください。
- ファイルサーバ上で起動している「プリントサーバ名」と、イーサネットボードに設定した「プリントサーバ名」が一致しているか確認してください。
- ファイルサーバのプリントサーバモニタに表示されている「プリンタ名」と、イーサネットボードに設定した「NetWareポート名」が一致しているか確認してください。また、イーサネットボードが複数存在する場合は、イーサネットボード同士の「NetWareポート名」が同じにならないように設定してください。

＜プリントサーバモードの場合＞

- 利用している「ファイルサーバ名」と、イーサネットボードに設定した「ファイルサーバ名」が一致しているか確認してください。
- ファイルサーバに設定した「プリンタ名」と、イーサネットボードに設定した「NetWareポート名」が一致しているか確認してください。また、イーサネットボードが複数存在する場合は、イーサネットボード同士「NetWareポート名」が同じにならないように設定してください。
- NetWareのログインパスワードが一致しているか確認してください。
- イーサネットボードの「マシン名」が、ファイルサーバに設定した「プリントサーバ名」と一致しているか確認してください。

印刷されない

- ネットワークケーブルが、正しく接続されているか確認してください。場合によっては、ケーブルを取り替えてみてください。
- プリンタの電源がONになっている場合は、プリンタの電源をOFF／ONしてください。

バナーページ印字を行うとポストスクリプトエラーになる

- NetWare3.12Jのリモートプリントモードでは、PostScriptバナーページを出力できません。そのため、ポストスクリプトプリンタを利用している場合にバナーページ印字を行うと、「 ポストスクリプトエラー 」になります。クライアントの印刷設定で、必ずバナー出力を「 OFF 」にしてください。

EtherTalk利用時のトラブル

セレクタや付属のユーティリティで認識されない

- プリンタの電源をOFF／ONしてください。
- ネットワークケーブルが、正しく接続されているか確認してください。場合によっては、ケーブルを取り替えてみてください。
- ゾーンが存在するネットワークの場合、セレクタで正しいゾーン名（プリンタの接続されているゾーン）が選択されているか確認します。また、イーサネットボード付属のユーティリティでイーサネットボードに設定したゾーン名と同じになっているか確認します。
- セレクタの右下に表示される［ AppleTalk ］が［ 使用する ］になってるか確認してください。
- コントロールパネルの［ AppleTalk ］で、［ Ethernet ］が選択されているか確認してください。OSのバージョンによっては、［ AppleTalk ］ではなく、［ ネットワーク ］があります。その場合は、［ EtherTalk ］が選択されているか確認してください。
- セレクタで、イーサネットボード取り付けられたプリンタに対応したプリンタドライバが選択されているか確認してください。
- イーサネットボードのEtherTalkプロトコルが、［ DISABLE ］になっている可能性があります。イーサネットボード付属のユーティリティで［ ENABLE ］にしてください。
- イーサネットボードの設定内容を印刷して、［ EtherTalk port name ］が空白になっていないことを確認します。
- イーサネットボードを初期化した後、プリンタドライバを再設定してください。

Net BEUI 利用時のトラブル

イーサネットボードが認識されない

- プリンタの電源を OFF ／ ON してください。
- ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。場合によっては、ケーブルを取り替えてみてください。
- コントロールパネルのネットワークに [Microsoft ネットワーククライアント] と [NetBEUI] が追加されているか確認してください。
- ワークグループ名の初期値は [PrintServer]、コンピュータ名は [ML + Mac アドレス下 6 桁] です。
- イーサネットボードのコンピュータ名をネットワーク上に存在するコンピュータ名と同じ名前へ変更した可能性があります。イーサネットボードの初期化を行ってください。重複しないコンピュータ名にしてください。
- イーサネットボードの [NetBEUI プロトコル] が [DISABLE] になっている可能性があります。イーサネットボード付属のユーティリティで [ENABLE] にしてください。
- イーサネットボードを初期化した後、プリンタドライバを再設定してください。

prn1 への書き込みエラーがでる

- プリンタがオフラインになっている可能性があります。オンラインにしてください。
- 用紙が切れているなどのエラーになっている可能性があります。エラーを解除してください。
- 他のユーザ（他のプロトコルを含む）が印刷している可能性があります。他のユーザの印刷が終了してから印刷してください。

その他

漢字コードが化け、正常に印字できない

- 印刷データに使われている漢字コードを確認してください。イーサネットボードはシフト JIS と EUC のポストスクリプト漢字フィルタに対応しています。

付録

主な仕様

項目	内容
CPU	Falcon 33MHz
ネットワークインタフェース	100BASE-TX 10BASE-T
ネットワークプロトコル	IPX/SPX（NetWare） リモートプリンタモード プリントサーバモード フレームタイプ：IEEE802.2、IEEE802.3 Ethernet-II、SNAP EtherTalk DDP、NBP、AEP、RTMP、ATP、PAP、 ZIP、AppleTalk phase2 対応 TCP/IP FTP、LPD、TELNET、ARP、DHCP、 BOOTP、RARP、ICMP、SNMP、HTTP NetBEUI SMB、NetBIOS
コネクタ	100BASE-TX/10BASE-T （自動切替、同時使用不可）
ケーブル	RJ-45 コネクタ付き非シールド ツイストペアケーブル（カテゴリー5）
機能	自己診断印刷機能および設定内容印刷機能 バナー印字機能（FTP、LPD） 漢字フィルタ機能（FTP、LPD）

DHCP,BOOTP,RARP を使用した IP アドレスの設定

DHCP サーバ、BOOTP サーバ、RARP サーバを利用しているネットワーク環境では、プリンタ起動時に各サーバから IP アドレスを取得することができます。

設定の前に

DHCP サーバ、BOOTP サーバ、RARP サーバを設定するためには、スーパーユーザになる必要があります。スーパーユーザの権限を持っていない場合は、ネットワーク管理者に設定を依頼してください。

- ネットワーク上に DHCP サーバ、BOOTP サーバおよび RARP サーバがない場合は利用できません。
- IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

イーサネットボードの設定

DHCP、BOOTP、RARPを使うためには、イーサネットボードの「DHCP/BOOTP」または「RARP」を「ENABLE」にする必要があります。

注 ・イーサネットボードの初期設定では、「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」、「RARP protocol」が「DISABLE」に設定されています。

次のいずれかの方法でイーサネットボードの設定を行ってください。

付属のユーティリティから設定する

Standard Setup Utility（Windows）を使った設定を説明します。
Setup Utility（Macintosh）でも設定できます。以下の説明を参考の上、お使いのネットワーク環境にあったユーティリティをご利用ください。

Standard Setup Utilityが起動した状態から説明します。ユーティリティのセットアップ方法は「第８章　イーサネットボードの管理」をご覧ください。

1 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うイーサネットボードを選択します。

MEMO イーサネットアドレス（ＭＡＣ Address）は、イーサネットボードの自己診断テストに表示されています。

2 ［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選びます。

3 TCP/IP設定画面の［RARPを使用する］または［DHCP/BOOTPを使用する］をチェックし、［設定］をクリックします。

4 設定に間違いがなければ、［はい］をクリックします。
設定値がイーサネットボードに送信されます。

注 ただしこの時点では、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。

5 設定値を有効にするため、[はい] をクリックします。

注 ここで[いいえ]を選択した場合、プリンタの電源をOFF/ONすれば設定値が反映されます。
イーサネットボードによっては、プリンタの電源をOFF/ONする必要があります。

TELNET から設定する

ワークステーションに付属の TELNET を使った設定を説明します。
以下の説明は、Sun Solaris2.4 を例にしています。各コマンドの設定方法などは異なることがあります。ご使用のワークステーションのマニュアルをご覧ください。

1 ARPコマンドを使って、イーサネットボードに一時的なIPアドレスを設定します。

例：IP アドレスが「192.168.20.127」、
　　イーサネットアドレスが「00:80:92:01:00:D2」の場合

```
# arp -s 192.168.20.127 00:80:92:01:00:D2 temp
```

MEMO イーサネットアドレス（MAC Address）は、イーサネットボードの自己診断テストに表示されています。

2 ping コマンドを使って、イーサネットボードとの接続を確認します。

例：IP アドレスが「192.168.20.127」の場合

```
# ping 192.168.20.127
```

注 応答がない場合は、手順1のIPアドレスの設定、またはネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

3 TELNET でイーサネットボードにログインします。
詳細は、「TELNET を使います」（115 ページ）をご覧ください。

4 TCP/IP 設定画面で［ DHCP/BOOTP protocol ］または［ RARP protocol ］を［ ENABLE ］にします。

5 イーサネットボードからログアウトします。
設定値を有効にするため、プリンタの電源を OFF/ON します。

注 プリンタの電源をOFF/ONしない場合、イーサネットボードは送信前の設定値で動作しています。必ず、プリンタの電源を OFF/ON してください。

DHCP サーバの設定

DHCP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに動的に IP アドレスを割当てるためのプロトコルです。IPアドレスの他に、サブネットマスクを設定することもできます。

注
- ネットワーク上に DHCP サーバがない場合は利用できません。
- イーサネットボードの［ DHCP/BOOTP protocol ］が［ ENABLE ］になっている必要があります。［ DISABLE ］の場合は「イーサネットボードの設定」（160 ページ）をご覧になり［ ENABLE ］にしてください。
- イーサネットボードには、固定の IP アドレスが割り当てられるように、DHCPサーバを設定してください。ランダムにIPアドレスを割り当てると、ネットワーク経由で印刷ができません。固定の IP アドレスを割り当てる方法については、各 DHCP サーバのマニュアルをご覧ください。

次の DHCP サーバでの動作を確認しております。

WindowsNT Server4.0 日本語版 DHCP サーバ
WindowsNT Server4.0 日本語版 DHCP リレーエージェト
Sun OS　4.1.3 ＋ WIDE 版 DHCP バージョン 1.3.6

注
- 上記以外の DHCP サーバでは正しく動作しない可能性があります。

以下の説明は、WindowsNT Server4.0 日本語版 DHCP サーバを例にしています。

1 ［ コントロールパネル ］の［ ネットワーク ］を起動します。

2 ［ サービス ］タブを開き、［ Microsoft DHCP サーバー ］が表示されていることを確認します。

表示されていない場合は、［ 追加 ］をクリックし、［ Microsoft DHCP サーバー］を選択します。WindowsNT4.0 を再起動します。

3 ［ スタート ］ボタンをクリックし、［ プログラム ］の［ 管理ツール（共通）］から［ DHCP マネージャ ］を起動します。

4 ［ DHCP サーバー ］一覧からスコープを作成するサーバをクリックします。

5 ［ スコープ ］メニューの［ 作成 ］を選択し、［ IP アドレス　プール ］の設定を行い、［ OK ］をクリックします。

6 ［ スコープ ］メニューの［ 予約の追加 ］を選択し、プリンタに割り当てる［ IP アドレス ］と［ 一意の ID ］と［ クライアント名 ］を入力し、［ 追加 ］をクリックします。

［ 閉じる ］をクリックして元の画面にもどります。

・必ず［予約の追加］で IP アドレスを割り当てて下さい。

MEMO
・［ 一意の ID ］には、イーサネットボードのイーサネットアドレスを入力し、［ クライアント名 ］には任意の名前を入力します。
・イーサネットアドレス（ＭＡＣ Address）は、イーサネットボードの自己診断テストに表示されています。

7 ［ スコープ ］メニューの［ アクティブ化 ］を選択し、作成したスコープをアクティブにします。
［ スコープ ］メニューの［ アクティブリソース ］を選択すると、プリンタの状況が確認できます。

8 プリンタの電源を ON にします。

DHCP サーバで割り当てられた IP アドレスはイーサネットボードの設定内容の印刷で確認できます。

BOOTP サーバの設定

BOOTPとは、TCP/IPネットワーク上の各ホストに、BOOTPサーバに登録したIPアドレスを割り当てるプロトコルです。プリンタの電源をONにすることでIPアドレスを取得することができます。

注

- ネットワーク上にBOOTPサーバがない場合は利用できません。
- イーサネットボードの［DHCP/BOOTP protocol］が［ENABLE］になっている必要があります。［DISABLE］の場合は「イーサネットボードの設定」（160ページ）をご覧になり［ENABLE］にしてください。

以下の説明は、HP-UX 9.xのBOOTPサーバを使う場合を例にしています。他のOSをご使用の場合には､ワークステーションのマニュアルにしたがって同様の設定を行ってください。

1 /etc/hostsファイルに、イーサネットボードのIPアドレスとホスト名を登録します。

例：IPアドレスが「192.168.20.127」、ホスト名「ML8C」の場合

```
192.168.20.127  ML8C
```

2 /etc/bootptabファイルに次の設定を追加します。

例：イーサネットボードのイーサネットアドレスが「00:80:92:01:00:D2」の場合

3 /etc/inetd.confファイルに次の設定を追加します。

```
bootps dgram udp wait root /etc/bootpd bootpd
```

4 inetdを再起動します。

```
# kill -1 1
```

5 プリンタの電源をONにします。

RARP サーバの設定

RARP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに、RARP サーバに登録した IP アドレスを割り当てるプロトコルです。プリンタの電源を ON にすることで IP アドレスを取得することができます。

注

- ネットワーク上に RARP サーバがない場合は利用できません。
- イーサネットボードの［RARP protocol］が［ENABLE］になっている必要があります。［DISABLE］の場合は「イーサネットボードの設定」（160ページ）をご覧になり［ENABLE］にしてください。

以下の説明は、SunOS4.1.x の RARP サーバを使う場合を例にしています。SystemV 系等の他の OS をご使用の場合には、ワークステーションのマニュアルにしたがって同様の設定を行ってください。

1 /etc/hosts ファイルに、イーサネットボードの IP アドレスとホスト名を登録します。

例：IP アドレスが「192.168.20.127」、ホスト名「ML8C」の場合

```
192.168.20.127  ML8C
```

2 /etc/ethers ファイルにイーサネットアドレスとホスト名の組み合わせを追加します。ホスト名は、/etc/hosts ファイルに登録したホスト名と同じにします。

例：イーサネットボードのイーサネットアドレスが「00:80:92:01:00:D2」の場合

```
00:80:92:01:00:D2  ML8C
```

3 RARPD を起動します。

```
#rarpd -a
```

注

- rarpd の起動方法については、ワークステーションのマニュアルをご覧ください。
- rarpd はワークステーションを起動するたびに必要になりますので、/etc/rc などのファイルから起動するようにしておくと便利です。

4 プリンタの電源を ON にします。

MLETB08
イーサネットボード
ユーザーズマニュアル
発行日　2000年 2月　　第2版
発行者　株式会社 沖データ

40929502EE